

5つのポリシー

当社はいつも
“お客様第一主義”

廃形（はいがた）しません

私たちは工業計器の理想として“廃形（はいがた）”しません。

■ 電子パーツが廃止になった場合などでも、設計変更で対応いたします。

ただし、代替の電子パーツを入手できない、あるいはリピートオーダーが見込めない場合などは廃形にすることがあります。
詳しくはホットラインまでお問合せください。

お約束納期達成率 99.99%

主力商品の標準納期は 4 日です。

■ 主力商品は『標準納期 4 日』、それ以外の商品でもすぐに納期をお答えできるシステムを整えております。さらに、お約束した納期は 99.99% お守りしている実績があります。

■ 緊急の場合は「変換器の急給センター」で対応いたします。

日数は土日を除いた実稼働日です。台数が多い場合はご相談ください。

特殊仕様による追加費用 0 円

「特殊仕様品」を製作するための追加料金はいただきません。

■ 特殊仕様追加料金は無料です。

ただし、特定作業費、パーツ購入費など別途費用が発生する場合があります。

■ 特殊仕様の“無料化”と“標準化”を進めて参ります。

救済ワイド補償サービス 3 年

破損・故障などの不測のトラブルを 3 年にわたって無料で救済補償いたします。

■ 「救済ワイド補償サービス」は、製品の「一般保証」の対象外となる

破損・故障の場合でもサポートするサービスです。

救済例) 電源誤投入、落下、水没、修理、動作チェック

■ 製品の保証期間は安心の 3 年間長期保証です。

詳しくはご注文に際してをご覧ください。

設定出荷サービス設定費用 0 円

工場出荷時の設定にかかる費用はすべて無料です。

■ ご使用に際して設定が必要な製品については、ご発注時にお客様からご依頼があった場合、設定作業を無償で実施のうえ出荷いたします。

ただし、エンジニアリングを必要とするもの（MsysNet[®] 製品、シングルループコントローラ、SCADALINX[®] など）は対象外とさせていただきます。また設定はご注文時に同った仕様で、工場出荷時の 1 回のみとさせていただきます。
詳しくはホットラインまでお問合せください。



- 記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
- ご注文・ご使用に際しては、最新の「仕様書」および下記 URL より「ご注文に際して」を必ずご確認ください。
https://www.mgco.jp/info_order/
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものの輸出（又は非居住者に提供）にあたっては、同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要になります。



このマークは、RoHS 指令で制限されている特定有害物質（10 物質）が規制値以下の製品であることを示しています。

MG 株式会社エムジー
Make Greener automation

代理店

当社製品のご注文や価格につきましては、下記までご連絡ください。

ホットライン TEL 0120-18-6321
カスタマセンター TEL 06-7525-8800
E-mail hotline@mgco.jp FAX 06-7525-8810

Webサイト
www.mgco.jp



拠点一覧はこちら
www.mgco.jp/cover/kaisha10.html



現場設置形データロガー Web ロガー 2

MG 株式会社エムジー
Make Greener automation

2025-04

NC-8570

500487

改16

1刷発行

IoT 時代の 現場設置形データロガー Web ロガー 2

データロガーの機能を
現場設置ユニット内で実現しました！

スケジュール機能を強化した
高機能仕様タイプ
新登場！

帳票作成

実物大

メール通報



現場設置形データロガー Web ロガー 2

■ 高機能仕様タイプ

形 式 : DL30-G

基本価格 : 176,000 円 ~

■ 標準仕様タイプ

形 式 : DL30-N

基本価格 : 165,000 円 ~

価格はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
最新価格はWebサイトでご確認ください。



IoT 時代が生んだデータロガー、Web ロガー 2 とは

Web ロガー 2 (形式 : DL30) は、現場でデータを収集してロギング（記録）すると同時に、帳票（日報／月報／年報）のフォーマットに編集して蓄積し、このデータを元に各種のWeb画面を生成します。そして、これらのWeb画面は、LANやインターネット経由でPCやタブレットから監視できます。監視側のPCやタブレットにはブラウザさえあれば良いので、機種やOSの種類を問いません。さらに、**Web ロガー 2**は、現場で発生した警報や機器の運転・停止などのイベントをメールにより自動的に通報する機能も装備しています。これらの機能を支える各種の通信プロトコルを内蔵しており、PLCやリモートI/O機器との通信によるデータ収集、ロギングデータや帳票データのファイル転送など多彩なアプリケーションに対応できます。

・画面はハメコミ合成です。 ・画像はイメージです。 ・記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
・当社はスマートフォン（スマホ）、タブレットの携帯電話通信事業を取り扱っておりません。

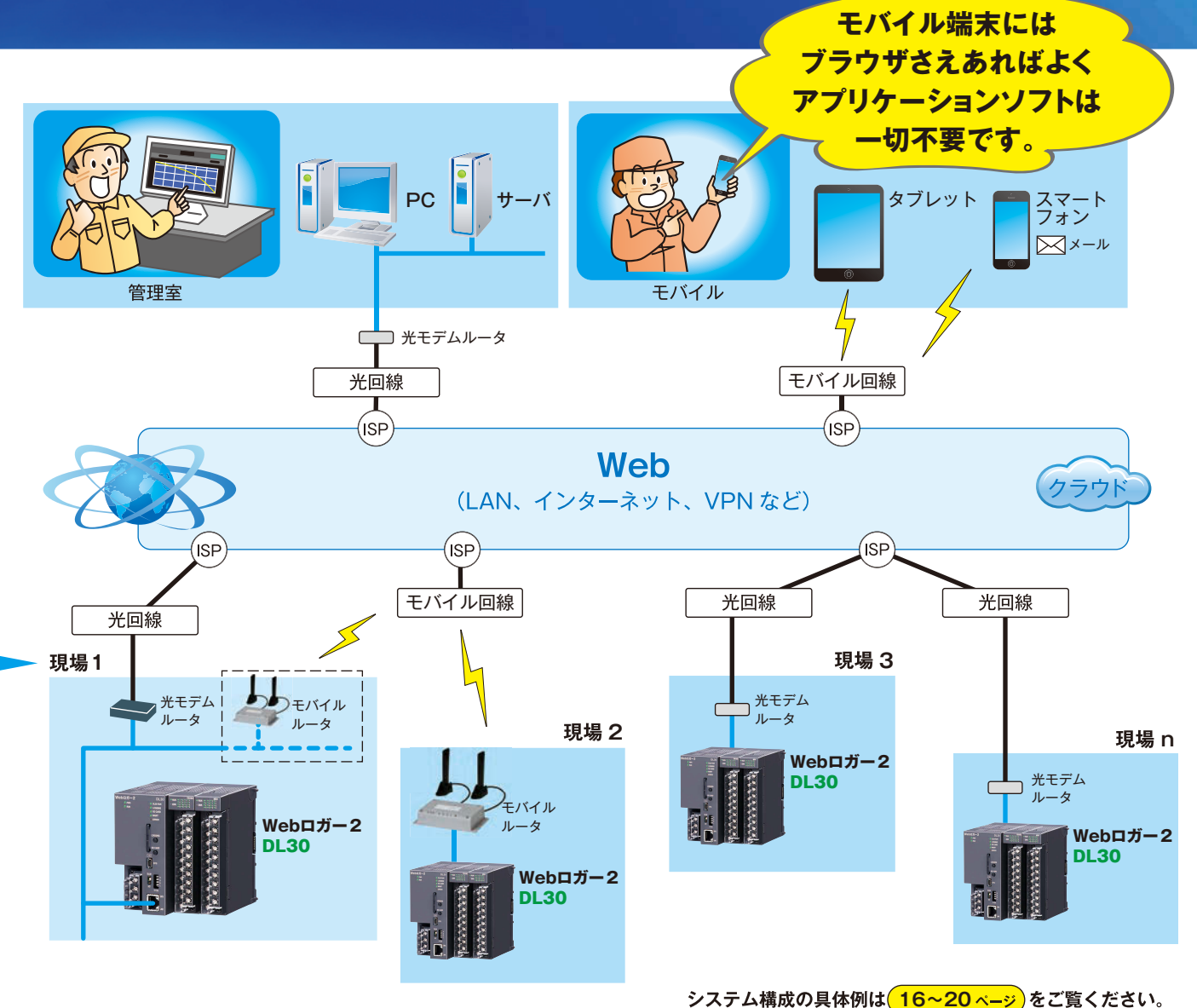
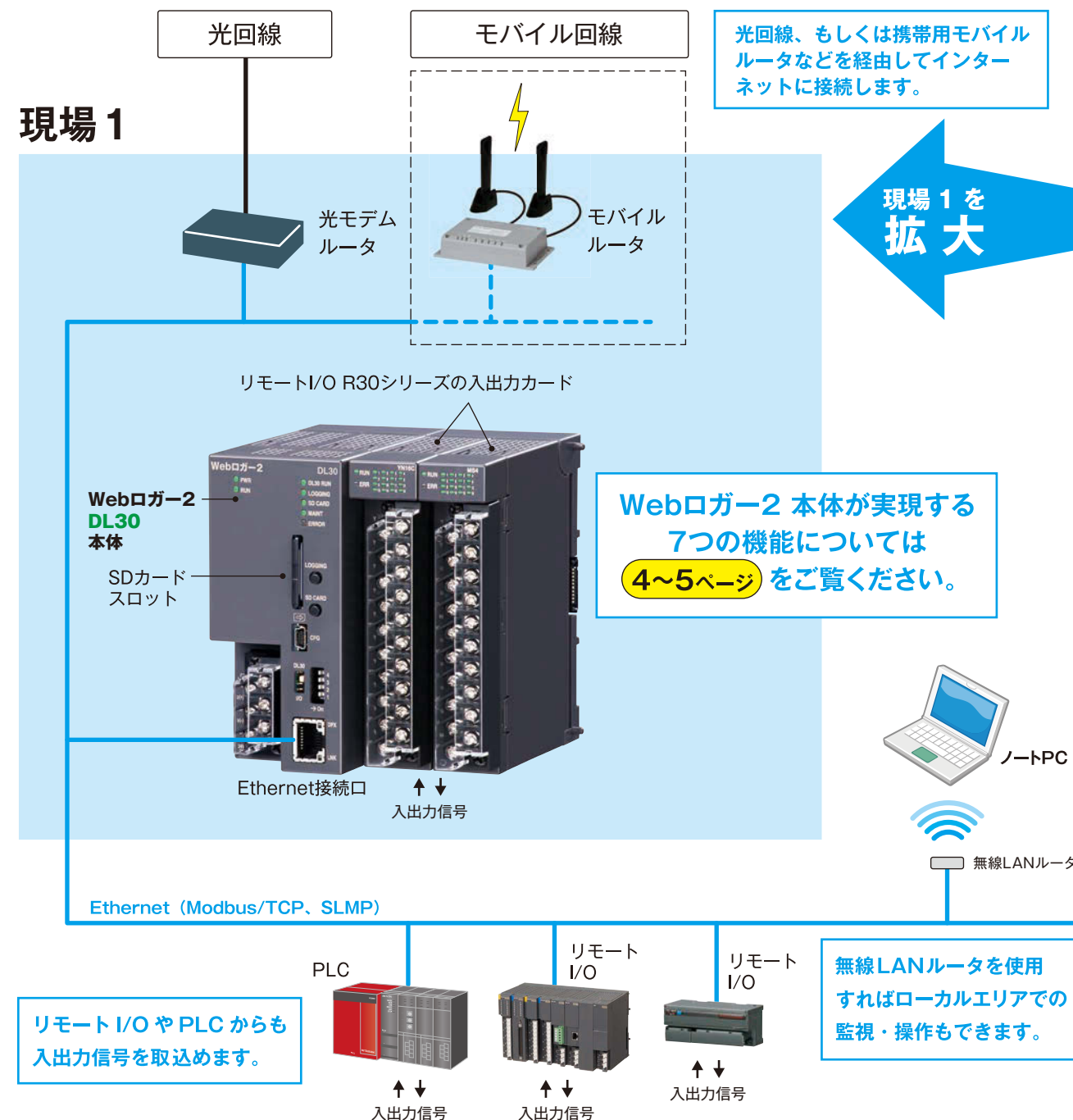
廃形（はいがた）しません！！

電子パーツが廃止になった場合などでも、設計変更で対応いたします。

ただし、代替の電子パーツを入手できない、あるいはリピートオーダーが見込めない場合などは廃形にすることがあります。

監視・記録から帳票作成までを現場側で行う、
**Web ロガー 2 は IoT 時代を担う
データロガーとして皆様のお役に立ちます。**

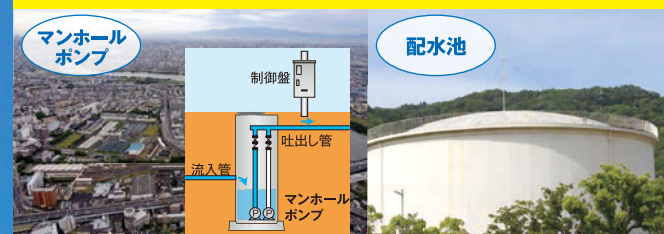
Web ロガー 2 の動作環境（関連機器構成）



応 用 例

このほかにも様々な用途でお使いいただけます。

上下水道設備の遠隔・集中監視に



再生可能エネルギー施設の遠隔監視に



工場の設備診断、予知・予防保全に



ビルの省エネ管理、課金システムに



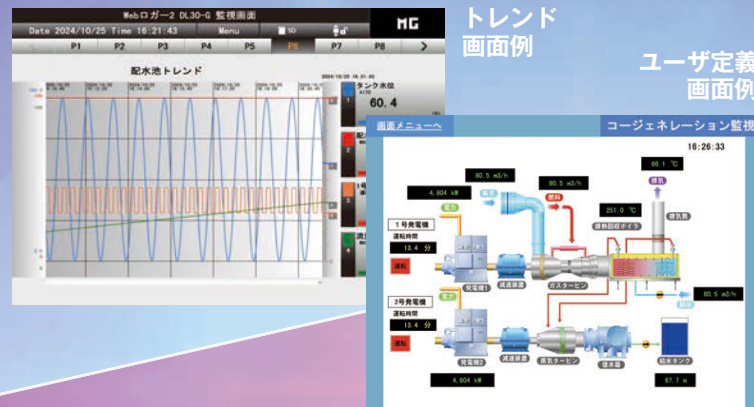
Web ロガー 2 には、以下の 7 つの便利な機能をすべて組込んであります。

IoT 時代の 現場設置形データロガー Web ロガー 2



ブラウザのある端末ならどこからでも アクセスできる現場設置の Web サーバです。

- 現場の状態が PC やスマートフォンからリアルタイムで見える各種 Web 画面を生成します。
- ・端末側（PC やスマートフォンなど）にはブラウザさえあればアプリケーションソフトは一切不要です。
 - ・トレンド画面、データ画面、イベント画面、帳票画面、ダウンロード画面、スケジュール画面などを標準で装備しています。
 - ・ユーザー定義画面も作成できます。
 - ・監視だけでなく、遠隔操作もできます。



ビルの空調設備、照明設備を 予定されたとおりに自動的にオンオフする スケジュール機能を強化しました。

スケジュール機能とは、あらかじめ登録したスケジュールにしたがって機器や装置の起動、停止を行う機能です。例えば始業前に予冷運転を行い、休憩時間は強制停止などを自動的に行います。スケジュールとしては、起動・停止パターンを週単位で登録でき、祝日などがある場合でも簡単にパターンを変更できます。

Web ロガー 2 DL30-G 監視画面									
Date	2024/10/25	Time	16:23:35	Menu	10	10	10	10	10
ポンプ・発電機・照明スケジュール									
項目	パターンの No.	On 時刻	Off 時刻	実行時刻	終了時刻	実行状況	実行予定時刻	実行予定時刻	実行予定時刻
10/21(水)	1	1 号機ポンプ	運転	8:00	16:00	停止			
	2	2 号機ポンプ	運転	9:00	17:00	運転			
	3	発電機	運転	7:30	19:30	運転			
	4	照明	運転	18:00	24:00	停止			
	5	照明	運転	0:00	7:00	停止			
10/22(木)	1	1 号機ポンプ	運転	8:00	16:00	停止			
	2	2 号機ポンプ	運転	9:00	17:00	運転			
	3	発電機	運転	7:30	19:30	運転			
	4	照明	運転	18:00	24:00	停止			
	5	照明	運転	0:00	7:00	停止			

ロギング機能が 充実しています。

- 現場の測定値やイベントデータを大容量メモリに収録し、併せて SD カードに転送して記録します。
- ・メンテナンスフリーで 10 年以上のデータが記録できます。
 - ・現場データに各種演算処理をして記録ができます。
 - ・記録したデータは、CSV ファイルとしてアップロードできます。

ロギング 機能

詳細は 6~7
ページ

便利な帳票作成機能を 備えています。

- 収録したデータから日報／月報／年報を自動作成します。
- 外部の PC 用帳票作成ソフトなどは不要です。
- ・作成した帳票は、CSV ファイルとしてアップロードできます。
 - ・ファイルをメールに添付したり、Web 画面から監視したりできます。

帳票作成 機能

詳細は 6~7ページ
10~11 ページ



メールで通報する、現場の見張り番です。

- 現場データが異常値になった場合や、機器が運転・停止した場合などに自動的にメール通報します。
- ・通報先は最大 64 箇所、宛先や通報内容を遠隔設定で変更できます。
 - ・通報カレンダーを内蔵し、休業日はメール停止もできます。
 - ・帳票ファイルをメールに添付できます。

メール通報 機能

詳細は 12~13
ページ



通信 機能

詳細は 14~15
ページ

Ethernet
SLMP 通信
Modbus/TCP

現場の司令塔としての万全な 通信制御機能を備えています。

- インターネット上のクラウドサーバや PC との通信、リモート I/O や PLC とのネットワーク通信を行う充実した通信制御機能を搭載しています。
- ・FTP サーバ／クライアント機能
 - ・HTTPS、FTPS に対応(DL30-G のみ)
 - ・Modbus/TCP マスタ／スレーブ機能
 - ・I/O マッピング機能
 - ・SLMP 通信機能(CC-Link 協会 SLMP 規格準拠)
 - ・SNTP 通信機能(自動時刻合わせ)

稼働監視機能を備えています。

- 設備の稼働状況がひとめでわかるアンドン画面とガントチャート画面で設備を PC やスマートフォンから監視できます。
- 【アンドン画面】
- ・アンドン表示によって、設備やラインの状態がリアルタイムで分かります。
 - ・演算機能で時間表示から分析まで行えます。
 - ・デジタルデータ・アナログデータともに最大 5 段階の状態を表示できます。
- 【ガントチャート画面】
- ・アンドンの色で時間軸表示することによって、装置の状態や数値の値(範囲)を視覚的に表現します。





Web ロガー2の充実したロギング／帳票作成機能の概要をブロック 図で示します。

ロギングデータ

ロギングデータと帳票データは、それぞれ独立してサンプリングするため個別に設定できます。

サンプリング方式(共通): 瞬時値 / 平均値 / ピーク(最大/最小)から選択
最大点数(共通): 標準仕様 DL30-N 64 点(チャンネル)
 高性能仕様 DL30-G 128 点(チャンネル)
基本サンプリング間隔(共通): 1 秒
サンプリング間隔(ロギング): 秒指定(1~30 秒) / 分指定(1~30 分) / 時刻指定(0~23 時オフセット可)
サンプリング間隔(帳票): 1 時間

帳 票

日報／月報／年報を作成します。最大 128 チャンネル分の Ai、Pi、MA のデータを帳票に編集し記録します。

日 報: 1 時間毎のデータを 24 時間分集計
月 報: 日報のデータを 1 ヶ月分集計
年 報: 月報のデータを 1 年分集計
最大点数: 標準仕様 DL30-N 64 点(チャンネル)
 高性能仕様 DL30-G 128 点(チャンネル)

内部メモリ

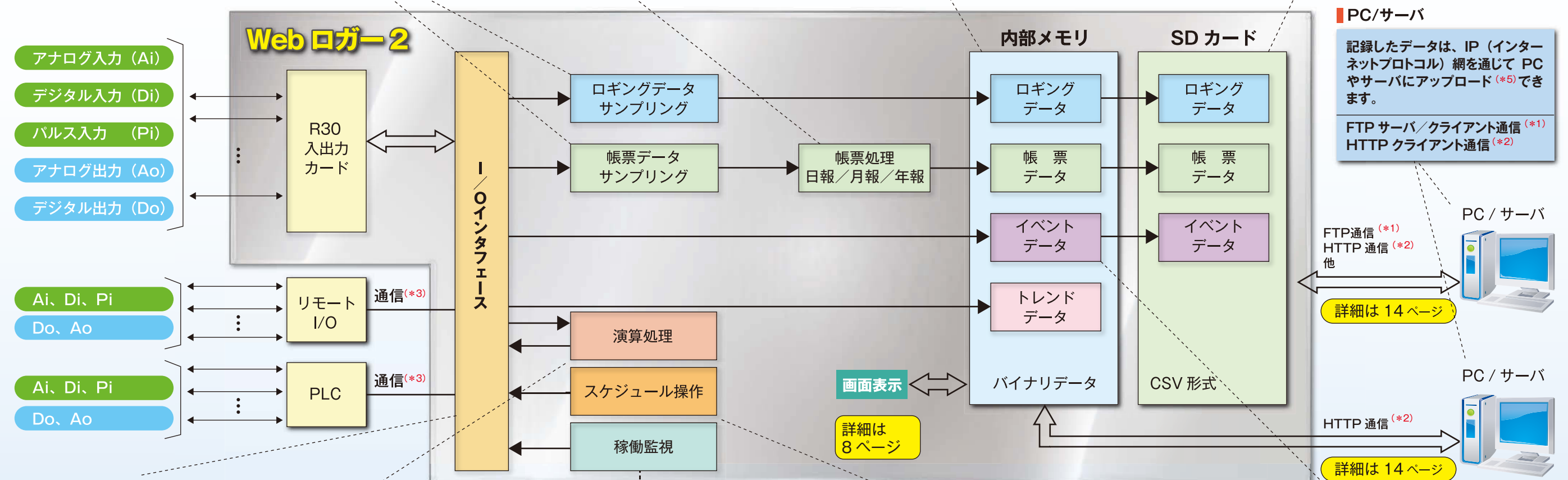
内部メモリにロギング、イベント、帳票データ、並びにトレンドデータをバイナリ形式で記録します。

ロギングデータ: 秒・分間隔データ 1 日分、時間間隔データ 1 ヶ月分
帳 票 データ: 日報 32 件分、月報 16 件分、年報 4 件分
イベントデータ: 8000 件分、システムログ 8000 件分、通信ログ 8000 件分
トレンドデータ: 8 ページ参照

SD カード

内部メモリのデータを CSV 形式のファイルで SD カードに記録します。

記録時間目安 (SD カード容量 16GB の場合):
 ロギング、イベント、帳票の各データ 10 年以上 (ロギングデータが 64 チャンネル / 1 分間隔サンプリング、標準仕様 DL30-N の場合)



I/O インタフェース

R30シリーズの入出力カードのほか、リモートI/OやPLCの入出力も通信経由で取込みます

	DL30-N	DL30-G
アナログ入力 Ai	64 点	128 点
デジタル入力 Di	128 点	256 点
パルス入力 Pi	64 点	128 点
アナログ出力 Ao	64 点	64 点
デジタル出力 Do	128 点	128 点
アナログ演算値 MA ^(※4)	256 点	256 点
デジタル演算値 MD ^(※4)	256 点	256 点

演算処理^(※4)

現場で収集したデータに下記の演算処理ができます。演算結果の値もロギング／帳票データとしてサンプリングできます。

演算の種類: 加減算 / 乗算 / 除算 / 開平 / 移動平均 / 一次遅れ / exp / 常用対数 / 自然対数 / ピークホールド (最大/最小) / アナログ積算 / 累乗 / F値演算 / スケーリング / 上下制限 / 論理演算

稼働監視 (DL30-Gの機能)

【アンドン画面】
稼働、停止、ワーク欠品、段取り替え、異常停止などの設備の状態、あるいは温度や流量、液位などの物理量をリモートI/Oを介して入力し、色分けして名称、数値と共に表示します。

【ガントチャート画面】
アンドンの色で時間軸表示することによって、装置の状態や数値の値(範囲)を視覚的に表現します。

スケジュール操作

登録したスケジュールに従い指定したデジタル出力 (Do) やデジタル演算値 (MD) に対し開始時刻になると、そのチャンネルからON出力を行い、終了時刻になるとOFF出力することができます。1つのスケジュールパターンは日単位ごとになっており、各曜日ごとにパターンを割付けることができます。

- ・スケジュールパターンは64パターン(DL30-G)まで登録できます。
- ・1つのパターンに最大8チャンネルを割付け、チャンネルごとに開始時刻と終了時刻を設定できます。
- ・当日を含む1週間先の各曜日ごとにスケジュールを登録することができます。

イベント

イベントデータとして下記の3種類を記録します。

イベントログ: Ai / Pi / MAの上下限警報、Di、MDのステータスなど

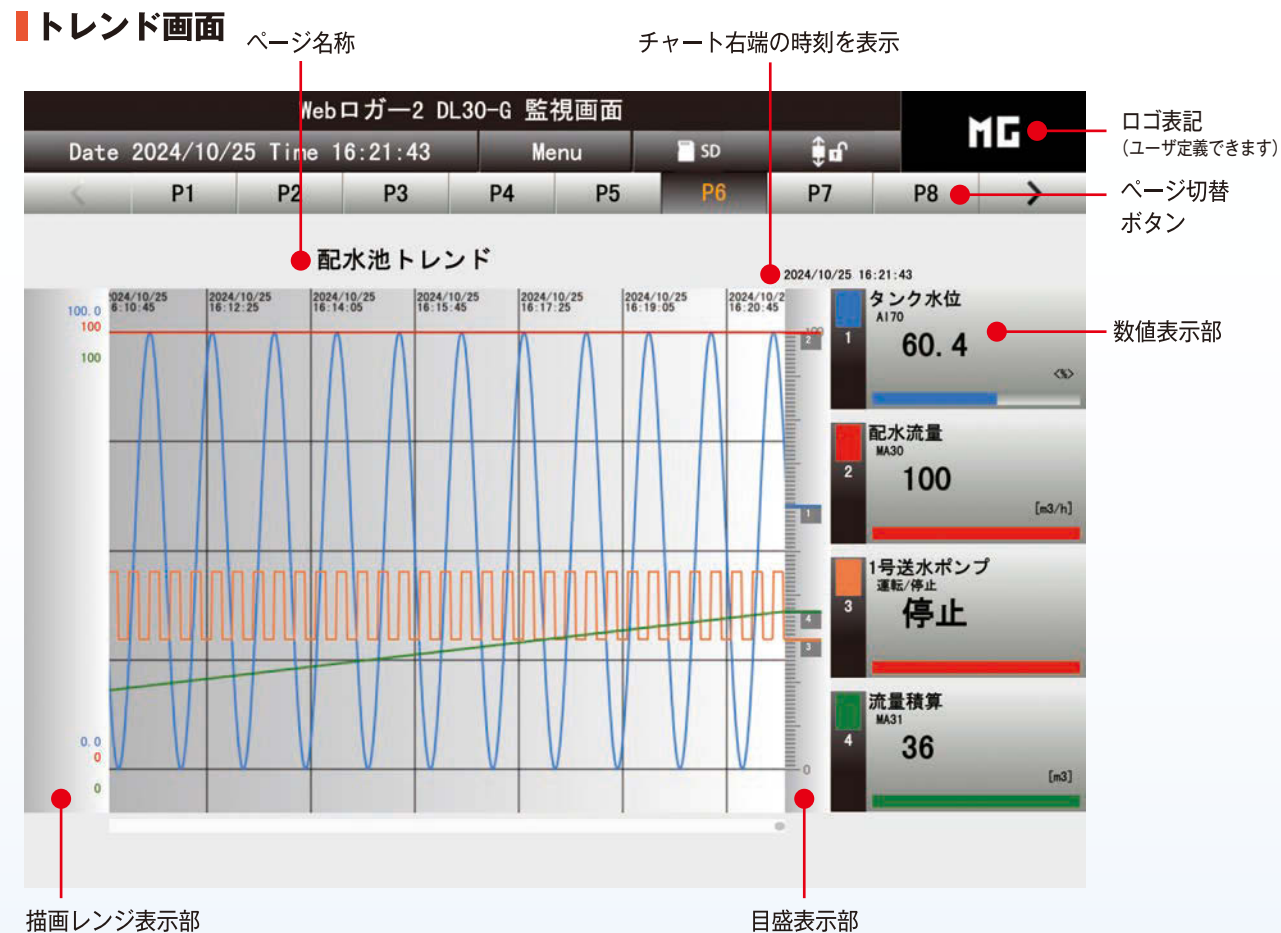
システムログ: 電源のON / OFFや設定変更、エラーの発生など

通信ログ: メールやFTPなどの通信記録

(※1) FTPSにも対応しています。(DL30-Gのみ) (※2) HTTPSにも対応しています。(DL30-Gのみ) (※3) 通信について 詳細は 14 ページ (※4) アナログ演算値 (MA) は、ロギング／帳票データとしてサンプリングできます。デジタル演算値 (MD) もロギングデータとしてサンプリングできます。
 (※5) アップロードはFTPまたはFTPS (DL30-Gのみ) クライアント通信のみです。

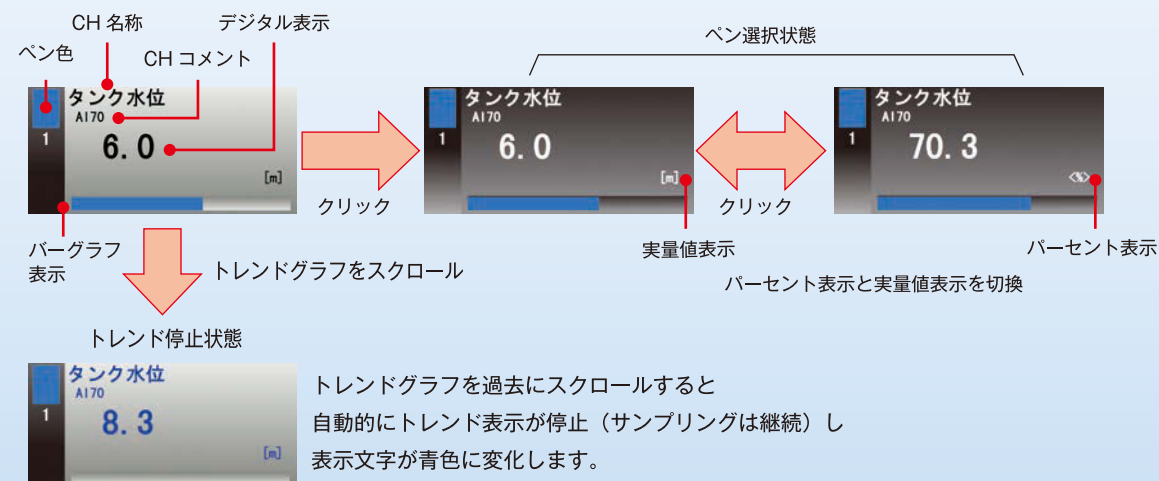


高性能なトレンドグラフの表示画面も標準装備しています。



1 ページあたり4ペンのトレンド画面を16 ページ分表示します(合計64 ペン)。各ペンには全ての種類の入/出力チャンネル(Ai/Di/Pi/MA/MD/Ao/Do/Doグループ(DL30-Gのみ))が割り付けられます(重複登録可)。サンプリング速度は、1/5/10/30 秒、1/5/10/15/30 分、1 時間、1 日をページ単位で指定できます。サンプル数は最大50000 点でそれを超えると自動上書きされます。表示は自動更新(*)されます。

数値表示

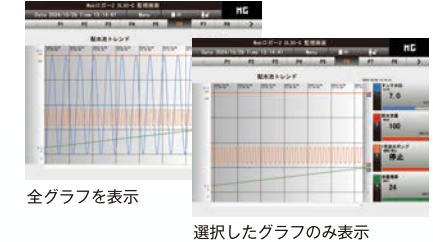


(*) 表示の更新周期は0~999 秒で、0 秒に設定すると表示を更新しません。

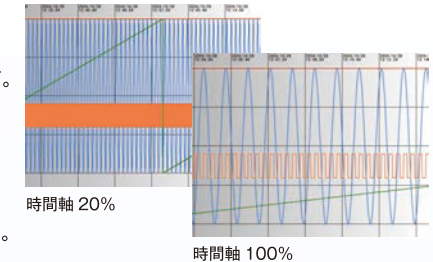
トレンド画面の便利な機能

- 目盛の最大値/最小値を変更する**
目盛の最大値、最小値を変更することができます。計測中に想定外のスケールで信号が入力されたときなど、表示範囲を広げてトレンドを見ることができます。
- ペンの表示/非表示を切替える**
監視したい信号のみを残し、ほかは非表示にすることでトレンドグラフを見やすくできます。
- 時間軸を拡大/縮小する**
長時間計測したトレンドグラフの時間を縮めて、一目でグラフの推移を確認できます。時間軸は100%(等倍)、50%、20%、10%の4段階で切替えることができます。
- グラフを比較する(目盛方向の移動)**
選択したペンのトレンドグラフを、目盛方向に移動することができます。同じように推移する2つのグラフの相違点を、素早く見つけるときなどに便利です。
- グラフを比較する(スケールの拡大/縮小)**
選択したペンのトレンドグラフを、目盛方向に拡大することができます。トレンドグラフの僅かな変化を、拡大して観察することができます。
- 表示画面の更新周期を変更する**
画面の更新周期を変更することができます。更新周期は0~999 秒です。0 秒に設定した場合は、画面の自動更新を行いません。測定する信号に合わせて設定してください。

ペンの表示/非表示を切替える



時間軸を拡大/縮小する



グラフを比較する(目盛方向の移動)



データ画面

割り付けているチャンネルの現在値が一覧表示されます。チャンネルのタイプ(Ai、Di、Ao など入出力の種類)により表示される項目が異なります。表示は自動更新(*)されます。

アナログ入力画面

Webロゴー2 DL30-G 監視画面										MG
Date 2024/10/28 Time 13:06:03		Menu		SD						
AI	DI	PI	MA	MD	AO	DO	GDO			
CH種別	CH名称	CHコメント	データ	工業単位	%	領域名称	表示色			
デモ(正読数)	コージェネレーション	排気出口温度	78.6	℃		出口温度正常				
デモ(正読数)	コージェネレーション	排熱回収ボイラ温度	423.1	℃		ボイラ温度正常				
デモ(正読数)	コージェネレーション	吸気量	47.4	m³/h	47.45					
デモ(正読数)	コージェネレーション	燃料供給量	98.5	m³/h	98.50					
デモ(正読数)	コージェネレーション	給水流量	52.5	m³/h	52.54					
デモ(正読数)	コージェネレーション	発電機1電力	4693	kW						

アナログ出力画面

Webロゴー2 DL30-G 監視画面

Date2024/10/28Time13:06:21MenuSD

MG

AI

DI

PI

MA

MD

AO

DO

GDO

CH種別

CH名称

CHコメント

データ

工業単位

Input

カード

送水流量

設定値

30.00

m³/h

カード

吐出弁

手動出力

0.00

%

カード

PAC注入量

設定値

0.0

l

(*) 表示の更新周期は0~999 秒で、0 秒に設定すると表示を更新しません。

イベント画面

内部メモリに蓄積されているイベントデータ(イベントログ/システムログ/通信ログ)を時系列で最大2000 件表示します。イベントの全件、当日分、前日分の表示切替ができます。表示は自動更新(*)されます。

イベント画面

Webロゴー2 DL30-6 監視画面

Date 2024/10/28 Time 13:11:07Menu

SD

8d

MG

EvtSysComSch

番号フィルタ選択

イベントログ

日付	時刻	CH番号	CH名称	CHコメント	イベント番号	メッセージ	表示色
2024/10/28	13:11:00	DI38	発電機2運転	運転/停止	1	発電機2号機停止	
2024/10/28	13:11:00	DI37	発電機1運転	運転/停止	1	発電機1号機停止	
2024/10/28	13:11:00	DI34	2号吐出弁	開/閉	2	2号吐出弁が全閉しました	
2024/10/28	13:11:00	DI33	1号吐出弁	開/閉	2	1号吐出弁が全閉しました	
2024/10/28	13:11:00	AI8	コージェネレーション	給水タンク水位	1	NAME2	
2024/10/28	13:10:40	DI38	発電機2運転	運転/停止	1	発電機2号機停止	
2024/10/28	13:10:40	DI37	発電機1運転	運転/停止	1	発電機1号機停止	
2024/10/28	13:10:40	DI34	2号吐出弁	開/閉	2	2号吐出弁が全閉しました	
2024/10/28	13:10:40	DI33	1号吐出弁	開/閉	2	1号吐出弁が全閉しました	



作成した帳票はブラウザから監視できます。

帳票画面

内部メモリに保存されている帳票データ（日報／月報／年報）を表形式で表示します。

1 つの表に 8 チャンネル分表示し、9 チャンネル以降は次の表に表示されます。

日報例

ブラウザ表示画面

表示内容

これは便利、帳票を自動で転送できます！

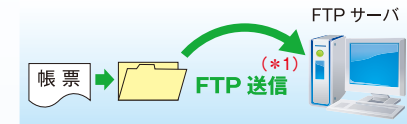
メールに添付して自動送信できます。 詳細は 13 ページ

メール通報機能を利用して、SD カードに保存した帳票のファイルをメールで送信できます。送信のタイミングは、帳票は**ファイル更新時**、ロギングデータやログなどは**ファイル確定時**から選択できます。



FTPクライアントから自動送信します。 詳細は 15 ページ

FTP クライアント機能を使用して、SD カードに保存した帳票のファイルを FTP サーバに送信できます。送信のタイミングは**ファイル更新時**です。



ダウンロード画面

内部メモリ、SD カードに保存されているロギングデータ、帳票データ、イベントデータの一覧が表示されます。

左側にフォルダー一覧が、右側にファイルの一覧が表示されます。内部メモリのデータや SD カードのファイルをダウンロードできます。また、SD カード内の古いファイルを手動で削除できます。



スケジュール画面

あらかじめ登録したスケジュールに従って動作しているチャンネルの現在の状態を確認できます。1 つのスケジュールの中でデジタル出力 (Do) とデジタル演算値 (MD) を最大 8 チャンネル指定し、それぞれに ON 出力の開始時刻と OFF 出力の終了時刻を設定できます。このスケジュールは日単位で 64 パターン (DL30-G) まで登録することができ、当日から 1 週間先まで割付けられます。例えば、7 つのパターンを使用して、曜日ごとに異なるスケジュールを設定したり、2 パターンを使用して、平日用を月～金に、休日用を土・日に割付けることができます。

スケジュール監視画面

スケジュール設定画面

8 つの Do または MD のチャンネルを指定できます。

チャンネルごとに開始時刻 (ON 操作) と終了時刻 (OFF 操作) を設定します。

スケジュール機能の特長 (DL30-G)

- Web 画面より開始・終了時刻、登録機器、各種メンテナンスが行えます。
- GDo(デジタル出力グループ)チャンネル機能^(※2)を使って、デジタル出力(Do)、デジタル演算値(MD)を一括して操作できるようになりました。
- 外部からの接点入力により、スケジュール機能による出力を一括で OFF にできます。
- 年月日を指定して、特別日のパターンを登録できます。

稼働監視 (DL30-G の機能)

アンドン画面

アンドン表示によって、設備やラインの状態がリアルタイムで分かります。

現在、生産設備がどのような状況にあるかをアンドンで表示する機能です。稼働、停止、ワーク欠品、段取り替え、異常停止などの設備の状態、あるいは温度や流量、液位などの物理量をリモート I/O を介して入力し、色分けして名称、数値と共に表示します。

演算機能で時間表示から分析まで行えます。

Web ロガー 2 には、接点の ON または OFF の時間を積算する機能があります。これを使って各種状態の積算時間を表示することができます。また、豊富な演算機能があり、時間計測やカウンタを使って装置の稼働率のほか様々な分析を行うこともできます。



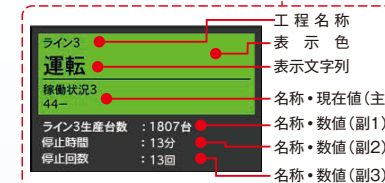
アンドン画面

デジタルデータの表示

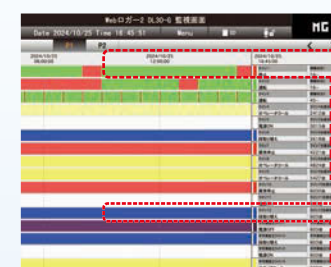
デジタル入力またはデジタル演算値を組合せて最大 5 段階の状態を表示できます。表示内容としては、表示名称、表示色や数値 (主) のほか、3 つの数値表示 (副 1～3) が行えます。

アナログデータの表示

アナログ入力、パルス入力、アナログ演算値の値 (範囲) に対して 5 段階で表示色や表示文字列、数値 (主) を表示できます。さらに 3 つの数値表示 (副 1～3) が行えます。

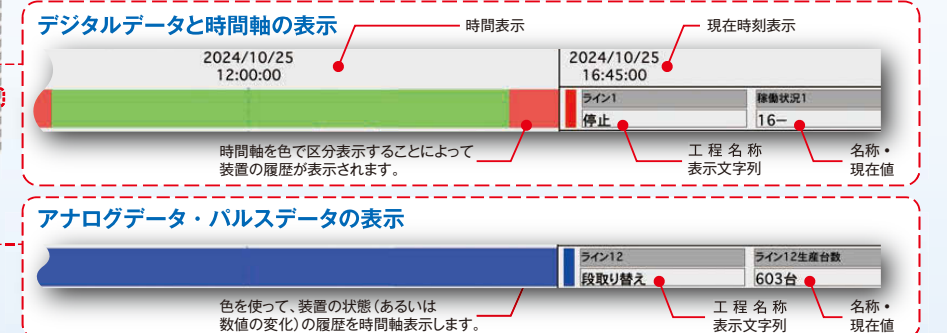


ガントチャート画面



ガントチャート画面

ガントチャート (Gantt chart) では、アンドンの色で時間軸表示することによって、装置の状態や数値の値 (範囲) を視覚的に表現します。1 画面に 12 時間分のデータを表示し、画面スクロールにより 48 時間前までのデータが表示できます。



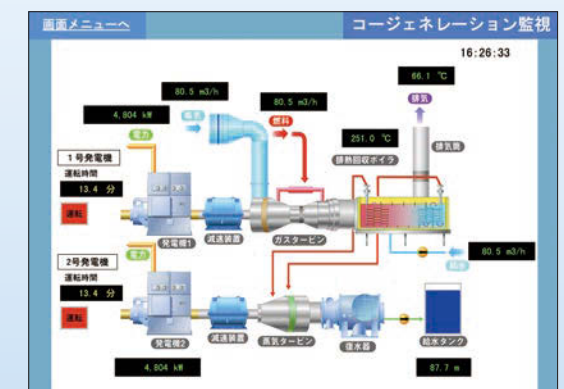
ユーザ定義画面例^(※3)

HTML や JavaScript、画像データ (gif、jpg)、CSS などを駆使し、自由な Web 画面を作成できます。また、Web ロガー 2 で計測したデータの現在値を、JavaScript のデータファイルとして読み出すことができます。ユーザ定義画面を簡単に作成する専用ツール「Web ロガー 2 用ユーザ定義画面作成ソフトウェア (形式: DL30 Web Designer)」を用意しています。作成したデータは、DL30 Web Designer から USB ケーブルまたは Ethernet から Web ロガー 2 本体に転送します。容量は 4MB を用意しています。

(※1) FTPS にも対応しています。(DL30-G のみ)

(※2) GDo(デジタル出力グループ)チャンネル機能とは、デジタル出力チャンネル(Do、MD)をグループ化した仮想チャンネルとして扱える機能です。

(※3) DL30 Web Designer は、フリーソフトとして当社 Web サイトからダウンロードできます。画面はイメージです。

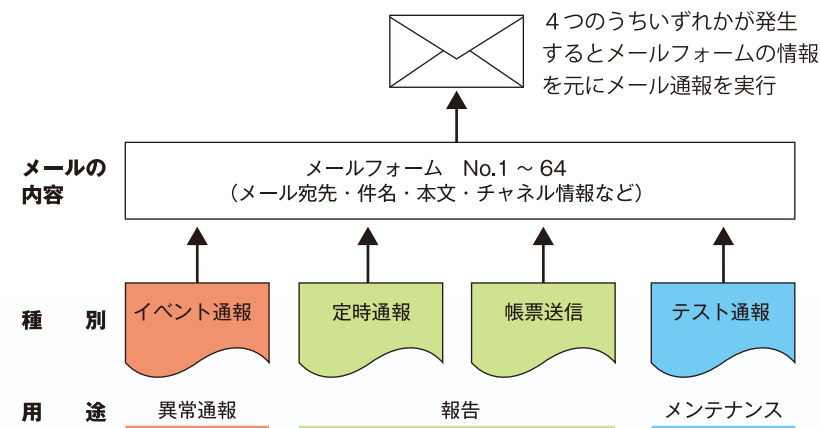




各種の通報により現場で起きている状況を的確につかめます。

■ メール通報の仕組み

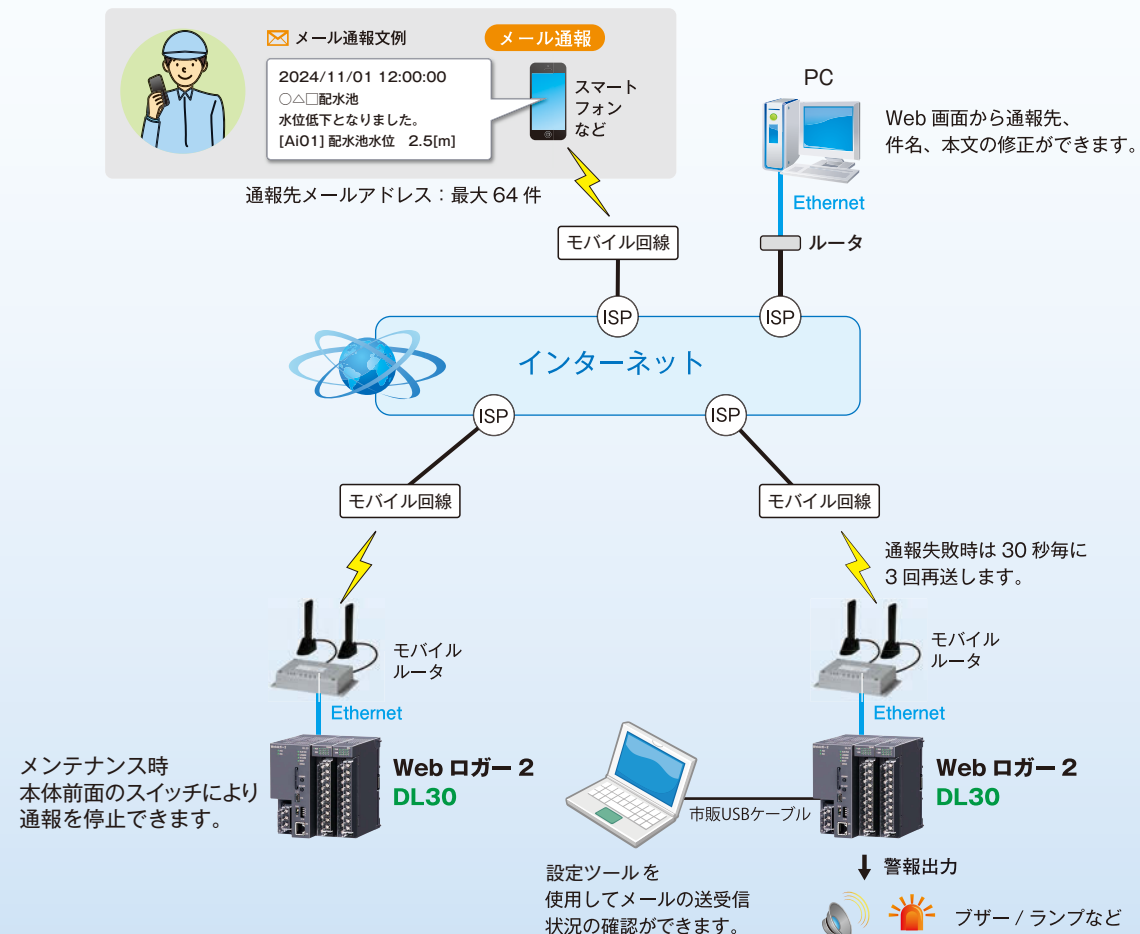
メール通報は状況に応じた4つの通報種別を用意しました。運転や故障の接点信号が入ったとき、アナログ信号が閾値を超えたときなどの状況や異常内容を通報する**イベント通報**、定期的に現在値や帳票データを添付して連絡する**定時通報**と**帳票送信**、そして試運転やメンテナンスで確認する**テスト通報**です。各通報の条件が発生すると、メールフォームと呼ばれる宛先や件名、本文などの情報を呼び出し、メール通報を実行します。



■メールの遠隔設定もできる便利な設定機能

メールの宛先は 64 件まで登録できます。メールフォームごとに宛先を指定して送信できます。

メール通報が失敗したときは、自動的に 30 秒毎に 3 回まで再送します。それでも送信できないときは、外部へ接点出力を行い異常を知らせることができます。



注．メール通報をご使用の場合には、別途プロバイダが用意するメールサーバのメールアドレスが必要になります。
インターネットに接続して監視する場合、固定 IP アドレスまたはダイナミック DNS サービスの登録が必要になります。 組合せるモバイルルータについては、お問合せください。

■測定点の名称や時刻も簡単に書き込め、帳票も添付できるメールフォーム

メールのレイアウトは、メールフォームで作成します。メール本文には、送信確定時の時刻、各チャネル(測定点)の名称やコメント、メッセージのほかに接点の状態、アナログの現在値(水位や流量など)、積算値、内部の演算結果などをメール本文中に挿入できますので、具体的な数値(“〇〇m、△△m3/h”など)情報を通知できます。

メール文章は64通(標準仕様DL30-N)または、128通(高機能仕様DL30-G)を登録できます。

また、メールには日報・月報・年報データをCSV ファイルとして添付し送信できますので、帳票データの管理も容易です。

メールフォーム 設定画面

No.05	
モード	有効
通報先	通報先設定
件名	第一配水場 異常通報
本文	第一配水場 Webロゴ-2からの通報です。 NAM COM MSG
通報フィルタ	全時間
就業時間番号設定	1
CH情報	CH情報設定
添付ファイル	なし
通報成功出力	なし
	DO
	009
OK キャンセル	

専用タグを用意

[_TIM_]	送信確定時の時刻
[_NAM_]	CH 名称 (イベント通報のみ有効)
[_COM_]	CH コメント (イベント通報のみ有効)
[_MSG_]	イベントメッセージ (イベント通報のみ有効)

専用タグを本文に埋め込むことで、フォームを共有できます。
つまり、文章の修正が発生しても、1つのフォームを変更するだけです。

(例)

専用タグ	メールで送信される文章
[_TIM_]	→ 2024/11/01 12:00:10
[_NAM_]	→ 1号ポンプ
[_COM_]	→ 第一配水池
[_MSG_]	→ 故障が発生しました。

■ 土日や休日、就業時間も区別できる通報カレンダー

[illegible]

メールを送信する時間帯を選択できるようにしました。「設定画面」の「メール通報」の中にある「通報カレンダー」の設定で平日や休日、就業時間中や時間外などを自由に指定できます。例えば、就業時間内は社内の担当者、就業時間外は社外に委託しているメンテナンス会社の担当者へ通報するといった使い分けができます。

■ 時計変数を利用して任意のタイミングでメールを送信

種類	入力値
秒	0～59
分	0～59
時	0～23
日	1～31
月	1～12
曜日	日：0、月：1、火：2、水：3 … 土：6

現在時刻の秒・分・時・日・月・曜日をアナログチャンネル (Ai) に登録して、任意の時刻にメールを送信できます。

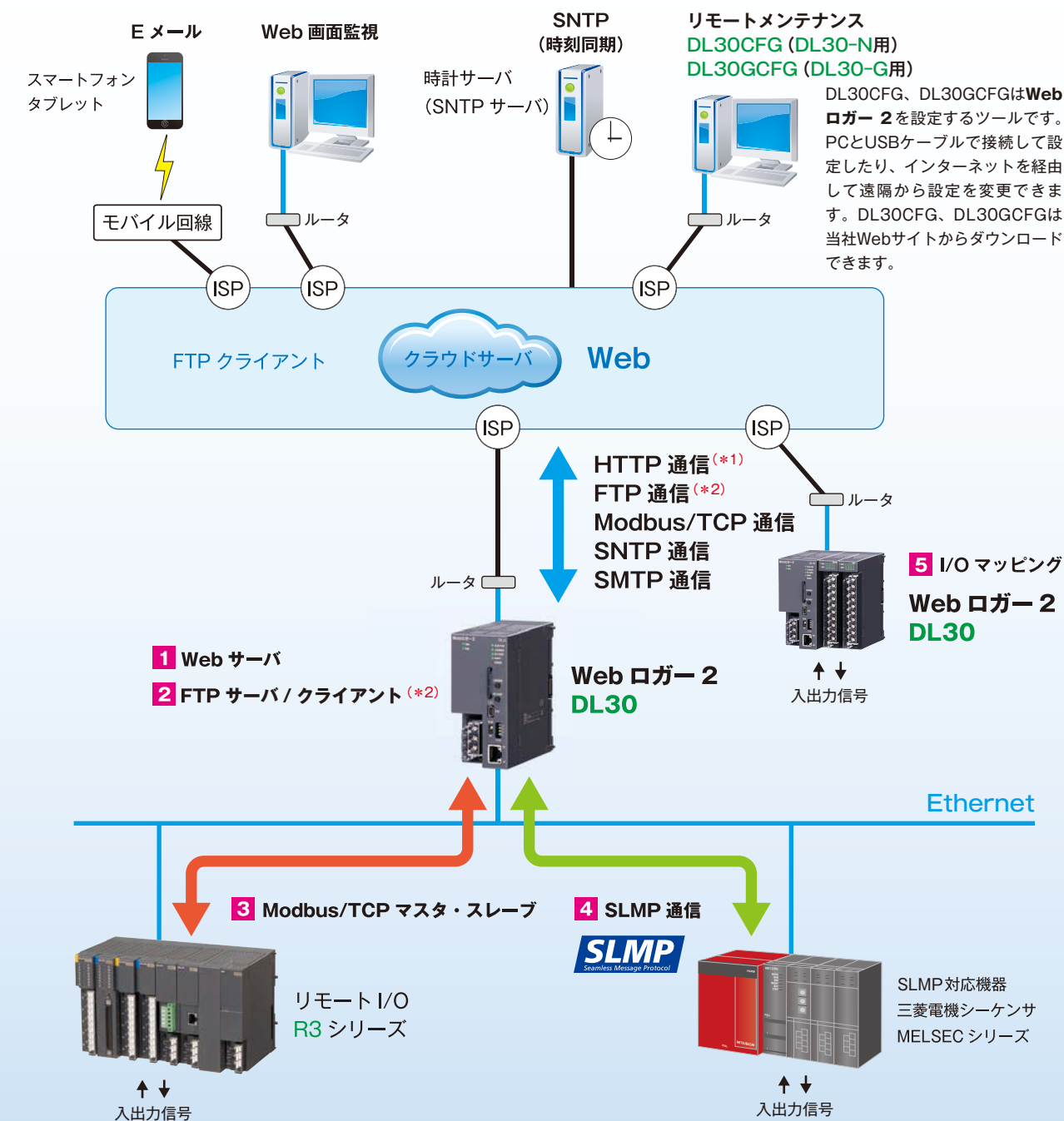
例えば、毎週日曜日の午前 1 時に定時通報と一緒に月報を送信する、といったことができます。



PLCやリモートI/O、インターネットとの通信を一括コントロールします。

概要

Web ロガー 2 には、TCP/IP、HTTP サーバ(*1)、FTP サーバ/クライアント(*2)、SMTP クライアント、SNTP クライアント、Modbus/TCP マスタ/スレーブ、SLMP マスタなど様々な通信プロトコルを搭載しています。外付けのルータに接続することにより各種ブロードバンド（光、CATV など）や高速モバイル通信を経由してインターネットに接続し、遠隔監視や信号を伝送することができます。



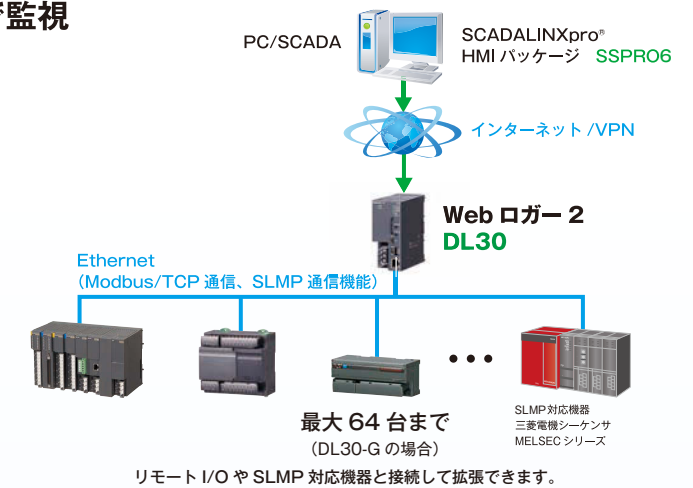
(*1) HTTPS にも対応しています。(DL30-G のみ) (*2) FTPS にも対応しています。(DL30-G のみ)

通信で集めたデータをインターネットで監視

- 1 Web サーバ
- 3 Modbus/TCP マスタ・スレーブ
- 4 SLMP 通信

Modbus 機器も SLMP 対応機器も SCADA で集中監視できます。

Web ロガー 2 は、Modbus/TCP 通信や SLMP 通信で最大 64 台 (DL30-G の場合、DL30-N は 32 台) のリモート I/O や SLMP 対応機器と接続し、入出力の拡張ができます。取込んだデータをトレンドグラフや集計して帳票形式で Web 監視できます。また、当社製の SCADA ソフト SCADALINXpro® HMI パッケージ (形式: SSPRO6) を使用すれば、複数の Web ロガー 2 を一括で集中監視できます。

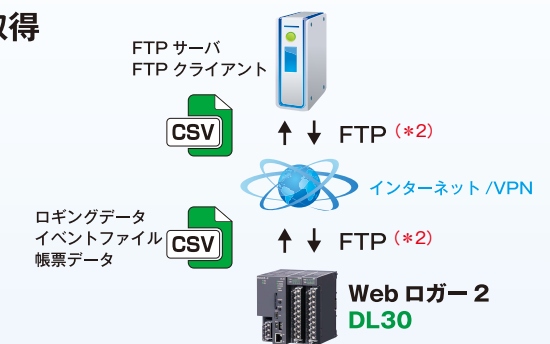


作成したデータは FTP で自動転送か手動で取得

- 2 FTP サーバ/クライアント(*2)

Web ロガー 2 は、遠く離れた現場でデータを生成しますが、生成したデータは、FTP で自在に転送できます。

Web ロガー 2 で記録・保存している CSV ファイルを FTP サーバへ転送したり、FTP クライアントから Web ロガー 2 へファイルを取得できます。FTPS サーバを利用するには Web ロガー 2 にローカル認証局作成支援ソフトウェア (形式: LCA-DL30) で作成したサーバ証明書をインストールします。LCA-DL30 は当社 Web サイトから無料でダウンロードできます。

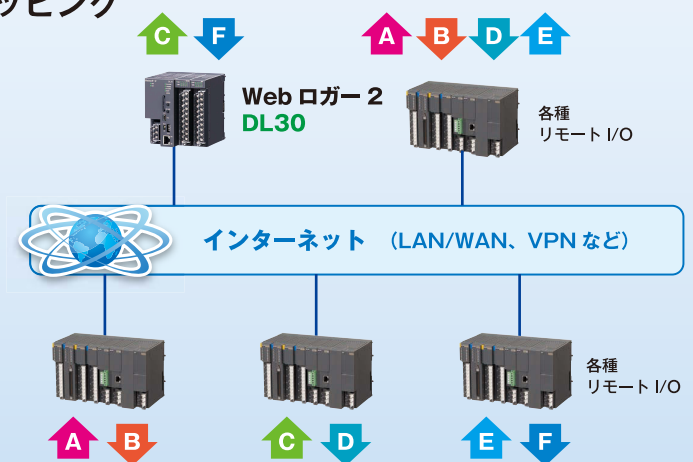


IP テレメータとして利用できる I/O マッピング

- 5 I/O マッピング

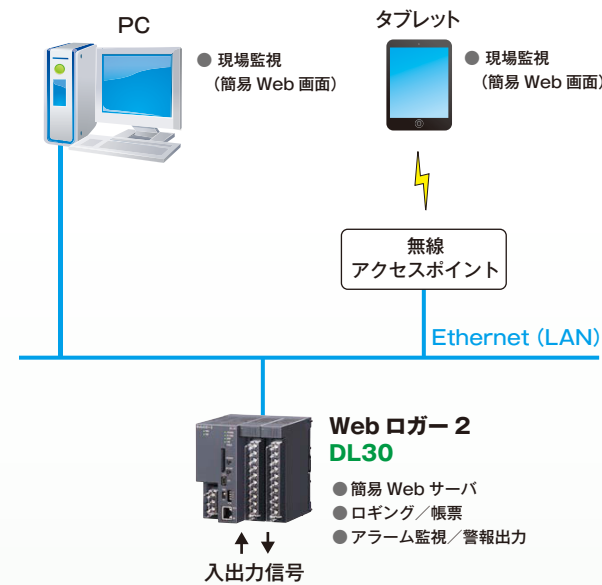
高速で経済的な IP テレメータシステムを構築できます。

LAN / WAN や VPN (バーチャルプライベートネットワーク) などの IP (インターネットプロトコル) 網を介して、Web ロガー 2 の通信機能を利用してネットワーク上にあるリモート I/O などの間で自由に入力信号と出力信号を接続できる機能です。遠方に設置された現場の信号を Web ロガー 2 を介して集中監視する IP テレメータシステムを構築できます。





1 LAN を使用して現場を監視する

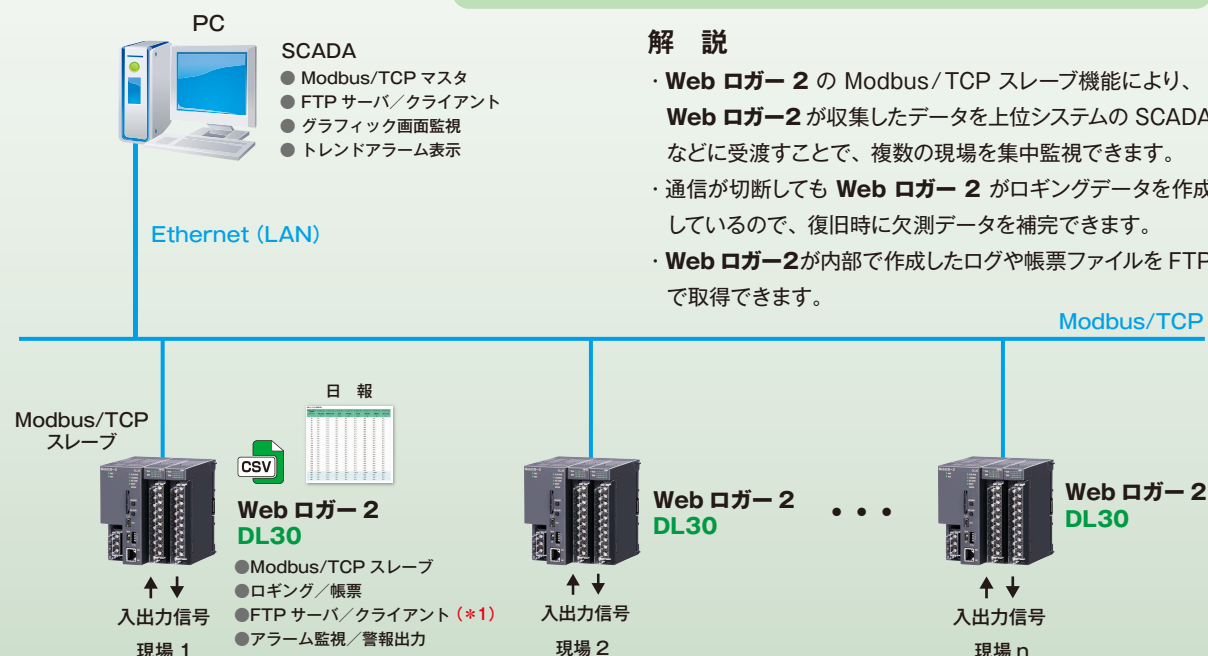


解説

- ・パソコンやタブレットのブラウザから LAN 経由で現場に設置した **Web ロガー 2** にアクセスします。
- ・**Web ロガー 2** に標準搭載したトレンドグラフやイベントログ、帳票画面を確認できます。

2 LAN を使用して工場内に分散した現場を集中監視する

ユーザのカスタマイズによる SCADA 監視画面

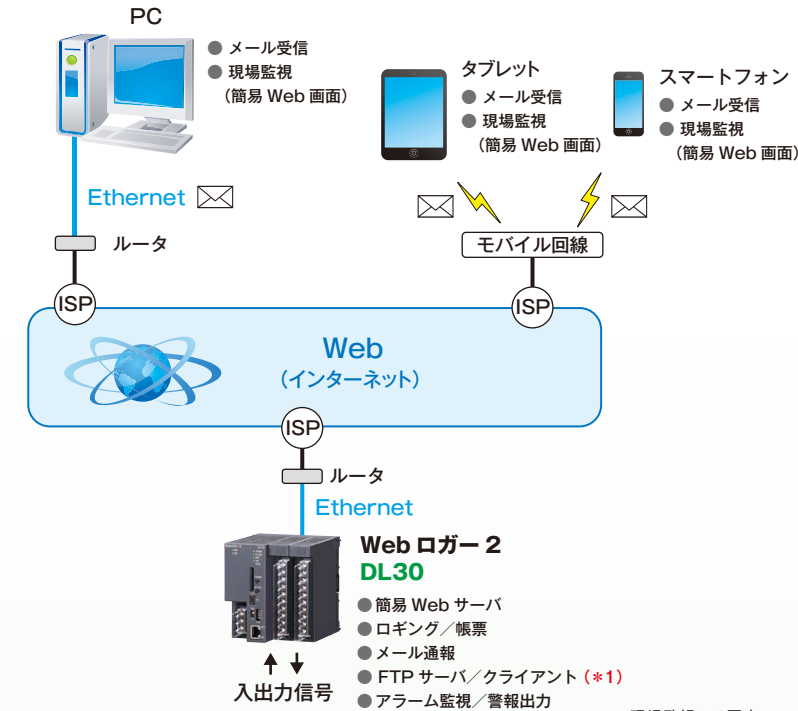


解説

- ・**Web ロガー 2** の Modbus/TCP スレーブ機能により、**Web ロガー 2** が収集したデータを上位システムの SCADA などに受渡すことで、複数の現場を集中監視できます。
- ・通信が切断しても **Web ロガー 2** がロギングデータを作成しているので、復旧時に欠測データを補完できます。
- ・**Web ロガー 2** が内部で作成したログや帳票ファイルを FTP で取得できます。

(※1) FTPS にも対応しています。(DL30-G のみ)

3 インターネット回線を使用して遠隔監視とメール通報を行う

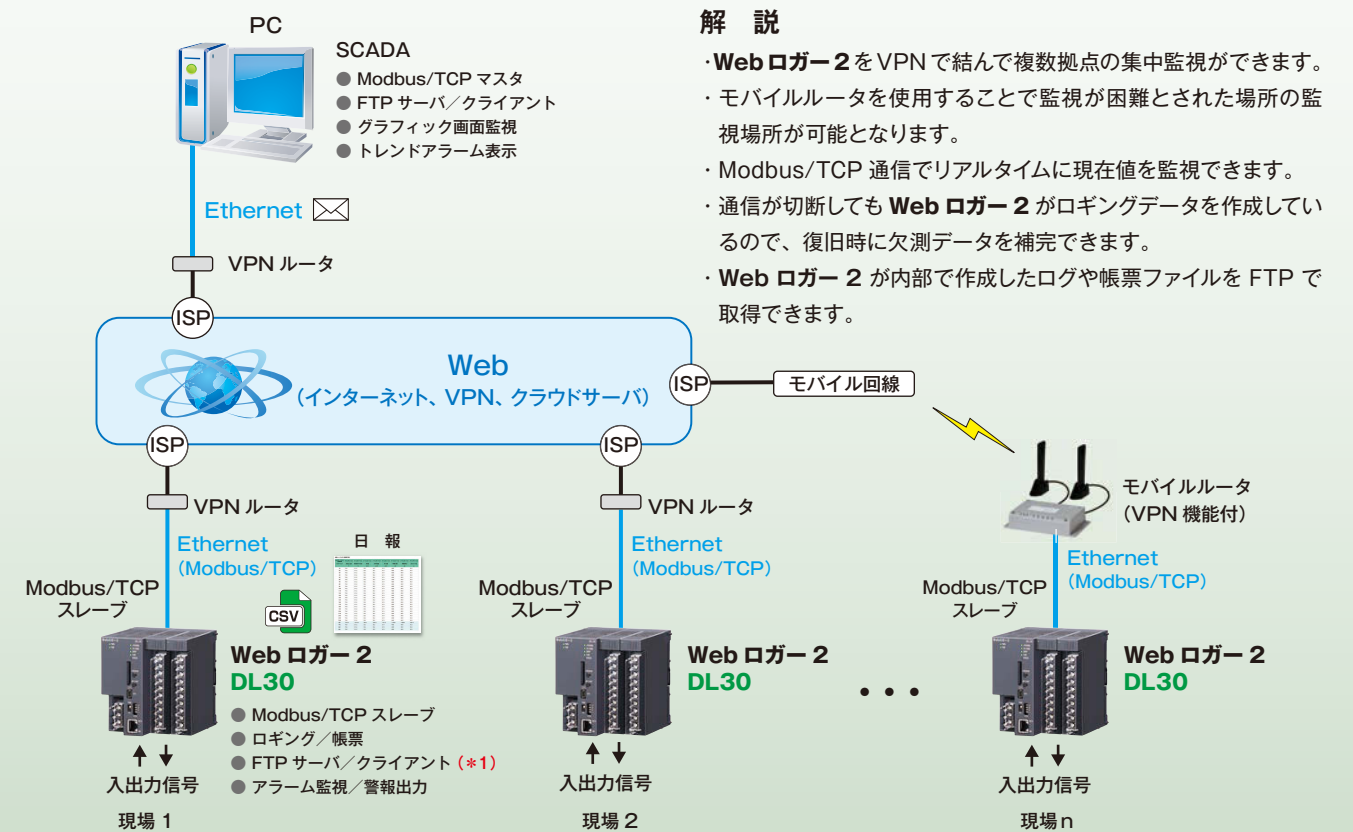


解説

- ・離れた現場に設置した **Web ロガー 2** が収集したデータを、インターネット経由でパソコンやタブレットのブラウザで監視できます。
- ・インターネットを使用することで遠隔地の異常をメールで知ることができます。

現場監視には固定 IP アドレスまたはダイナミック DNS サービスなどの登録が必要です。

4 インターネットやモバイル回線を使用して、遠隔地複数拠点の集中監視を行う



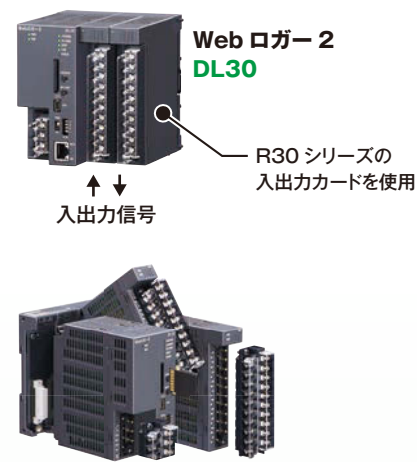
解説

- ・**Web ロガー 2** を VPN で結んで複数拠点の集中監視ができます。
- ・モバイルルータを使用することで監視が困難とされた場所の監視場所が可能となります。
- ・Modbus/TCP 通信でリアルタイムに現在値を監視できます。
- ・通信が切断しても **Web ロガー 2** がロギングデータを作成しているので、復旧時に欠測データを補完できます。
- ・**Web ロガー 2** が内部で作成したログや帳票ファイルを FTP で取得できます。

現場監視には固定 IP アドレスまたはダイナミック DNS サービスなどの登録が必要です。



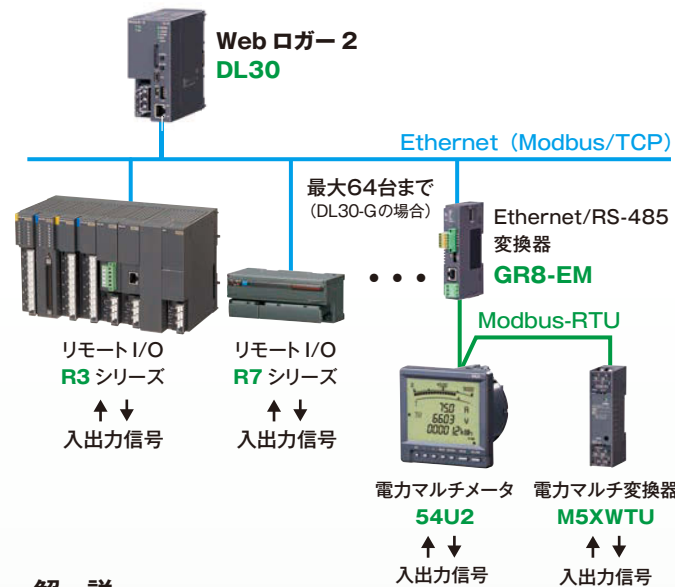
1 入出力カードから信号を取込む



解説

- ・リモート I/O **R30** シリーズの入出力カードをベース上に取付けて入出力信号を取込みます。
- ・入出力カードを実装する際は別途ベースを用意する必要があります。詳しくは仕様書をご覧ください。
- ・実装可能なカードは最新の仕様書をご覧ください。

2 リモート I/O から信号を取込む



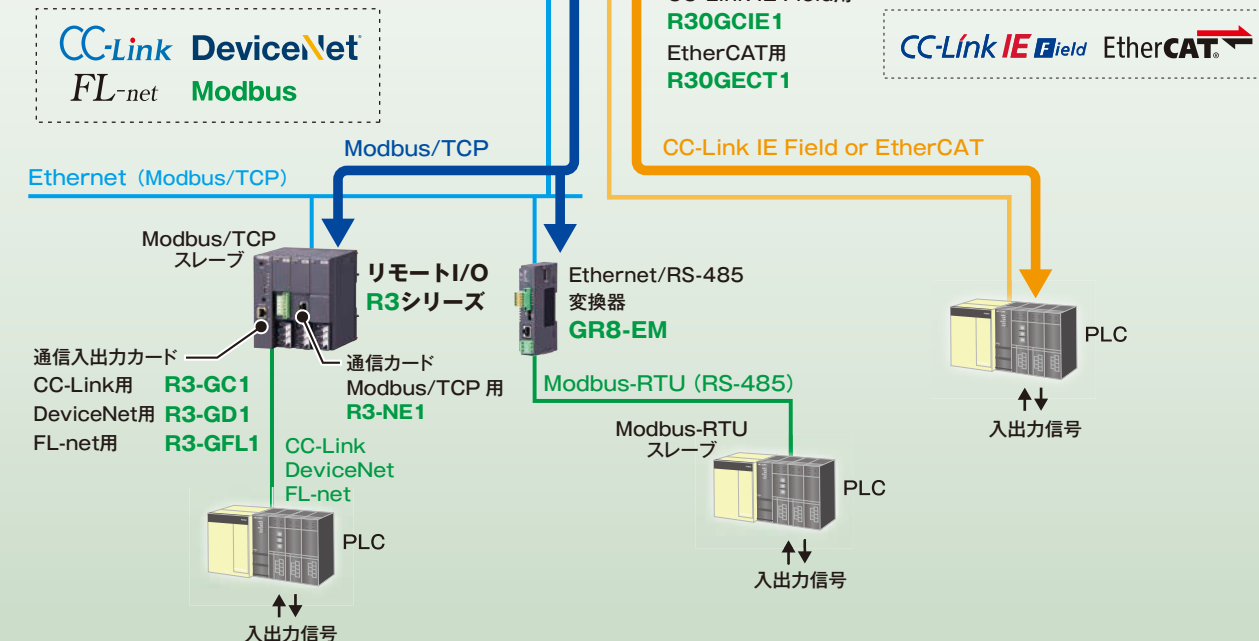
解説

- ・各種リモート I/O を Modbus/TCP で接続して入出力信号を取込みます。
- ・Ethernet/RS-485 変換器 (形式: **GR8-EM**) を経由して Modbus-RTU で接続したリモート I/O の入出力信号も取込めます。

3 オープンネットワークから信号を取込む

解説

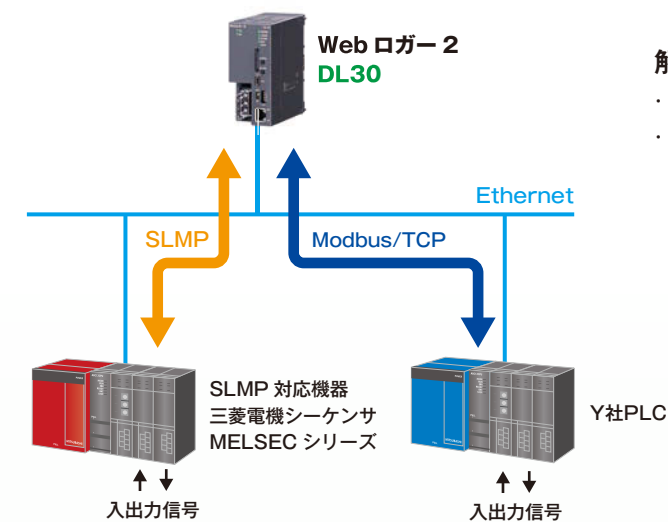
- ・Ethernet/RS-485 変換器 (形式: **GR8-EM**) を使用して、Modbus-RTU 機器のデータを取込みます。



解説

- ・当社リモート I/O の通信入出力カードを使用することにより、異なる通信ネットワークのデータを取込みます。

4 SLMP 対応機器や PLC から信号を取込む

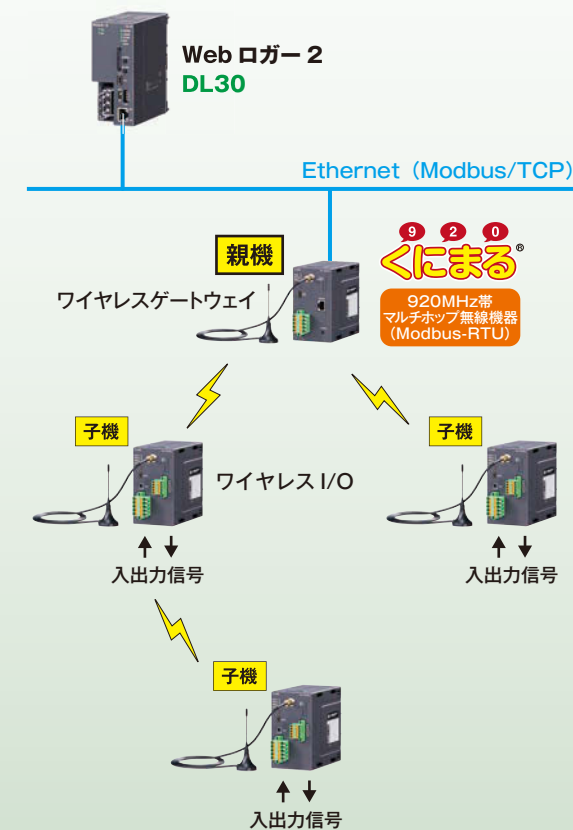


解説

- ・SLMP 対応 PLC の入出力信号や内部データを取込みます。
- ・Modbus/TCP マスタとしてリモート I/O や PLC と接続することで、ほかのコントローラ内のデータを取込みます。

SLMP : Seamless Message Protocol (CC-Link IE と Ethernet 製品をシームレスにつなぐ共通プロトコル)

5 920MHz 帯マルチホップ無線機器「くにもる®」を使用して入出力信号を取込む



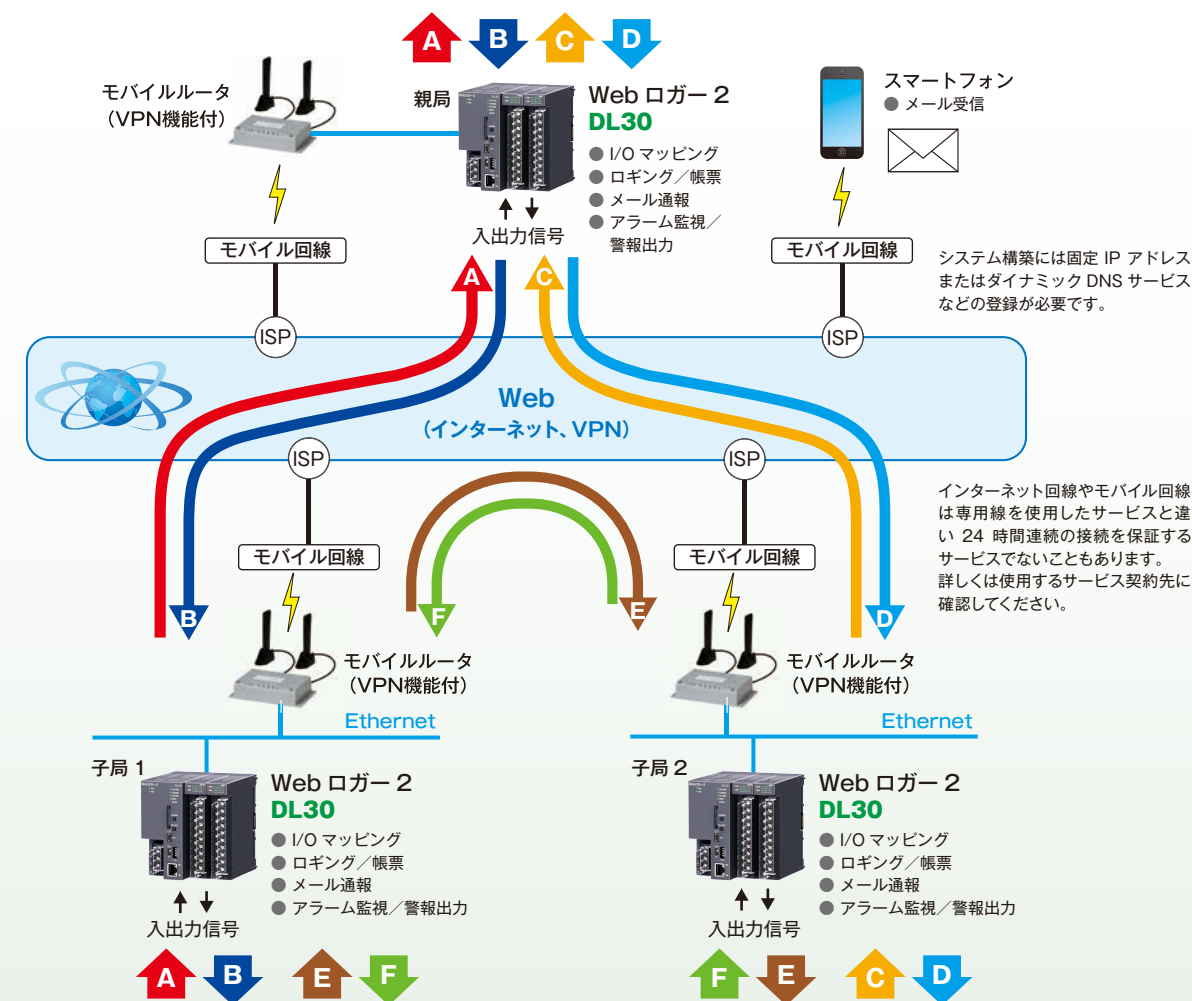
解説

- ・920MHz 帯マルチホップ無線機器「くにもる®」を組合せてセンサ信号をワイヤレスで伝送します。
- ・少点数から多点数まで、配線の困難な離れた場所の信号もワイヤレスネットワークで簡単に取込めます。
- ・無線機器「くにもる®」は、メッシュ形ネットワークの中で自動的に最適経路を選択して通信します。

Web ロガー 2 を使用した IP テレメータ (I/O マッピング) の構成

解 説

- ・ Web ロガー 2 が IP テレメータとして相互にデータを共有し、信号の入出力を行います。
- ・ 親局⇄子局だけでなく子局1⇄子局2間でも通信ができます。
- ・ Web ロガー 2 でアラーム監視を行い、警報出力をほかの Web ロガー 2 へ送信して、接点を出力できます。
- ・ 警報発生時や相手局との通信異常時にはメール通報もできます。
- ・ Web ロガー 2 で収集したデータはログファイル、帳票ファイルとして保存します (CSV 形式)。



動画のご紹介



高い費用と手間のかかるケーブル工事が
くにもる®を使えば要らなくなります!

この動画では高い費用と手間のかかるケーブル工事をせずに無線でデータ伝送ができる、920MHz 帯マルチホップ無線機器「くにもる®」についてご説明します。

https://www.mgco.jp/video/920/920_02.html



【短編ドラマ】
サラバ! 見て回り手書きメンテナンス

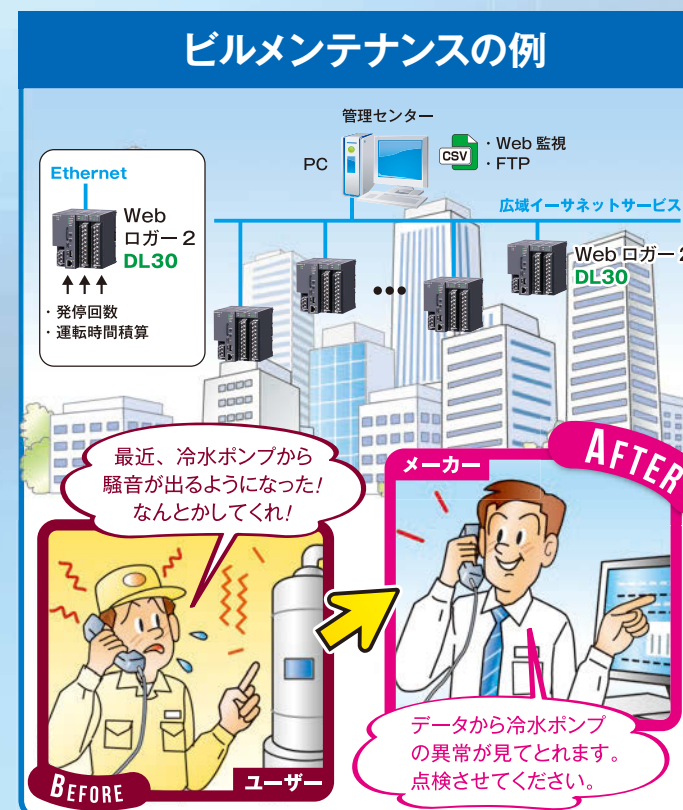
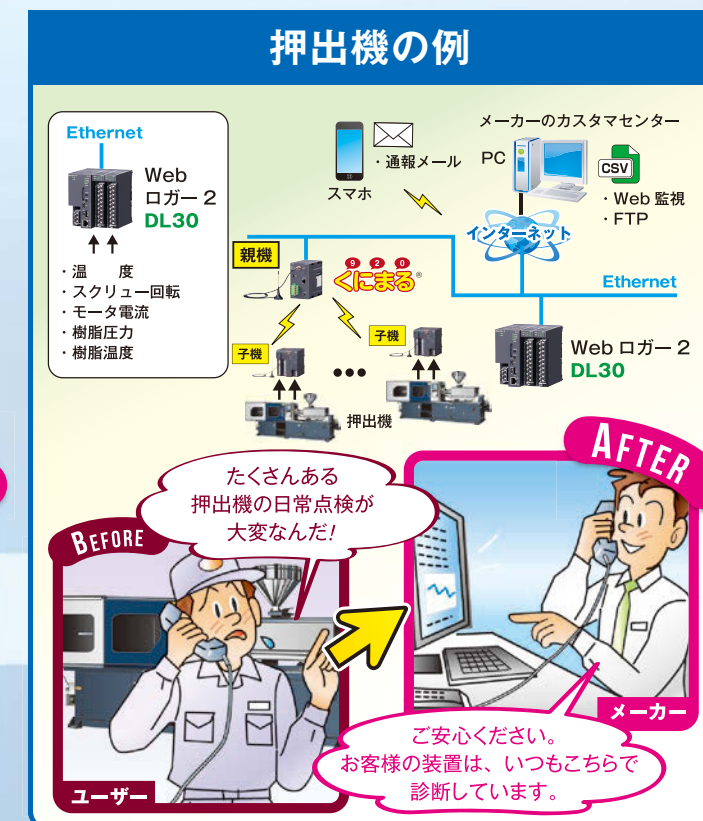
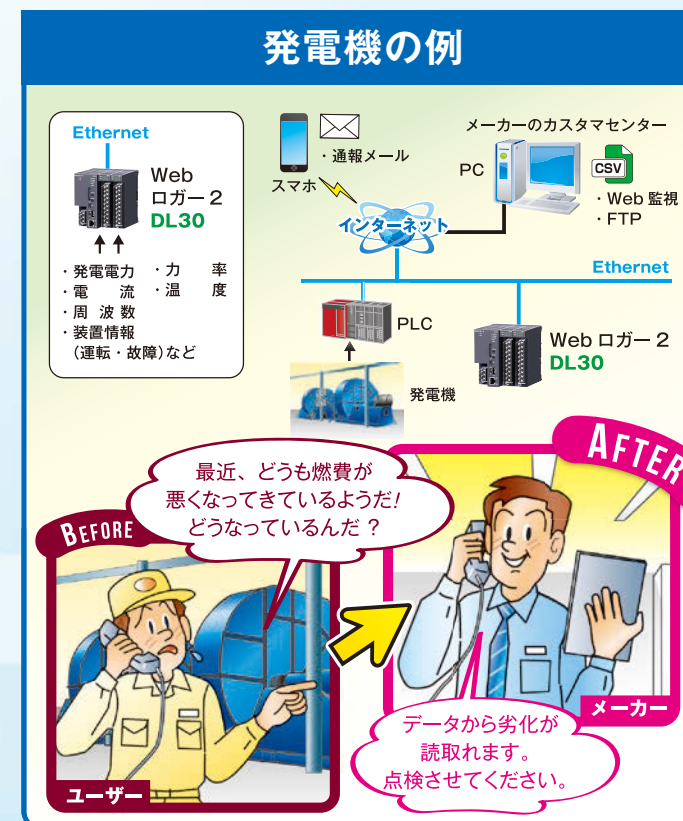
自動車部品メーカー生産技術課所属の田中くん、毎日の手書き点検データ記録が嫌で、学生時代の友人佐藤さんに相談してみると、意外な答えが...

<https://www.mgco.jp/video/920/920.html>

メーカー様へ

機械・装置メーカー様へのご提案

過去に出荷した加工機械や生産設備にこの Web ロガー 2 を取付けるとメーカー様の品質管理センターで生産設備の運転履歴データがインターネット経由でリアルタイムに監視できます。異常検知や予知・予防保全に大きな役割を果たします。



ユーザー様へ

機械・装置ユーザー様へのご提案

現在稼働中の加工機械や生産設備それぞれにこの Web ロガー 2 を取付けると、工場内の中央監視室やインターネット経由で各生産設備やユーティリティ設備の運転中の計測データをリアルタイムに監視できます。「見て回り手書きメンテナンス」から開放されます。

ボイラの例

ボイラの運転管理が大変なんだ!

AFTER

運転状況の確認から帳票まで、自動でできるんだ! 異常時にはメールで通報してくれる!

太陽光発電システムの例

広大な太陽光発電システムを見て回るの大変だ!

AFTER

異常があればメールが来るし、データは Web ロガー 2 に蓄積されているので助かるう。

マンホールポンプの例

マンポンを1台ずつ見て回って手書きで帳票を作成するのが大変なんだ!

AFTER

Web ロガー 2 なら集中監視も簡単だし帳票だって自動的に作ってくれる!

テナントビルの電力量自動検針の例

毎月検針して回るのは重労働だよ!

AFTER

全テナントの使用電力量がサーバで管理できるので料金の自動請求・引落しもできちゃった。

主な仕様

機 器 仕 様	設 置 仕 様
接続方式	供 給 電 源 : 24V DC (許容範囲 ±10%、リップル含有率 10%p-p 以下)
・ RUN 接点出力・供給電源 : M3 ねじ 2 ピース端子台接続 (締付トルク 0.5N・m)	消 費 電 力 : 約 18W 24V DC (最大出力電流 500mA 時) 約 5.3W (単体取付時)
・ Ethernet : RJ-45 モジュラジャック	内 部 電 源
・ 内部通信バス : ベース (形式 : R30BS) に接続	・ 最大定格出力電圧 / 電流 : 21V DC / 500mA
・ 内 部 電 源 : ベース (形式 : R30BS) に接続	本体と組合せて使用する R30 入出力カードは、消費電流の合計が、上記電流値以下になるように使用すること
圧着端子 (推奨メーカー) : 日本圧着端子製造、ニチフ (スリープ付圧着端子は使用不可)	使用温度範囲 : 0~50℃
・ 適用電線サイズ : 0.25~0.75mm ²	保存温度範囲 : -10~+60℃
端子ねじ材質 : 鉄にニッケルメッキ	使用湿度範囲 : 10~90%RH (結露しないこと)
ハウジング材質 : 難燃性灰色樹脂	使用周囲雰囲気 : 腐食性ガス、ひどい塵埃のないこと
R30 入出力カード接続台数 : 最大 16 台 (ただし、入出力カードの合計電流は 500mA 以内)	取 付 : ベース (形式 : R30BS) を使用し壁または DIN レール取付
アイソレーション : Ethernet-内部通信バス・内部電源-	質 量 : 約 300g
RUN 接点出力	性 能
・ 正常時は RUN 接点出力 ON。電源投入前または異常時 (内部メモリ異常、SD カード異常および R30 カード異常) は RUN 接点出力 OFF。	カレンダー時計 (電池バックアップ機能付き)
・ 定 格 負 荷 : 250V AC 0.5A (cos φ=1) 30V DC 0.5A (抵抗負荷) (EU 指令適合品として使用する場合は 50V AC 未満となります)	月 差 : 2 分以下 (周囲温度 25℃)
	バックアップ時間 : 約 2 年 (周囲温度 25℃)
	使 用 電 池 : リチウム一次電池 (取外し不可) (電池の消耗を防ぐため、電池バックアップ機能は出荷時 OFF になっています。ご使用を開始される際に ON にしてください)

外形寸法図 (単位 : mm)

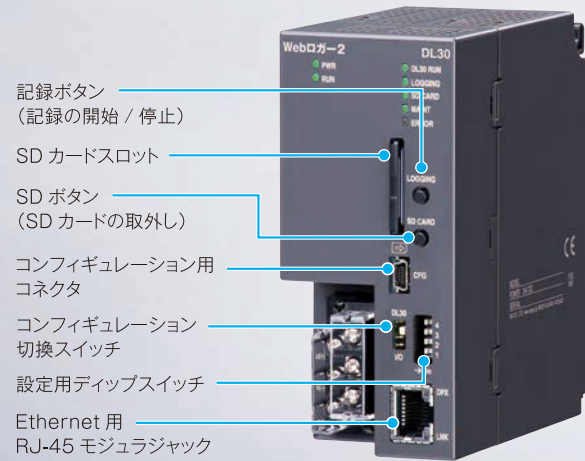
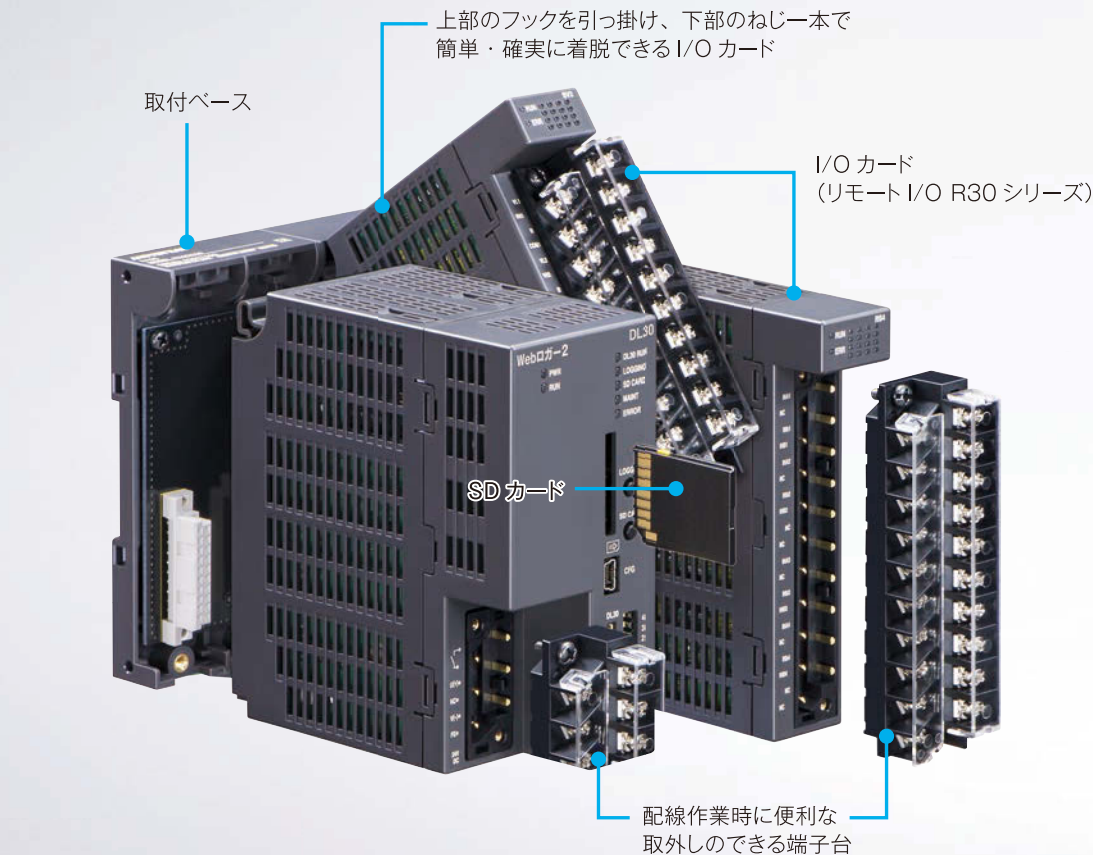
・ ベースに本体と入出力カード 2 枚を取付けた場合

正面図

側面図

ユーザー登録 (無料) をしていただくと「ファームウェアのバージョンアップ情報」を E メールでお知らせします。 www.8mgco.jp/koho/UserRegistration

Web ロガー 2は DL30 本体と
リモート I/O R30 シリーズの入出力カード、
ベースを組合せて使用します。



Web ロガー 2 本体

現場設置形データロガー
Web ロガー 2

高性能仕様タイプ
形 式 : DL30-G 
基本価格 : 176,000円~

標準仕様タイプ
形 式 : DL30-N 
基本価格 : 165,000円~

基本納期 : 5日

価格はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
最新価格はWebサイトでご確認ください。



I/O カード・ベースの種類

直流信号入力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
直流電圧 / 電流入力カード (絶縁2点)	R30SV2	31,500円~	6日	○	○
直流電圧 / 電流入力カード (絶縁4点)	R30SV4	44,200円~	6日	○	○
高速直流電圧 / 電流入力カード (絶縁4点)	R30SVF4	52,500円~	5日	○	○

センサ信号入力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
熱電対入力カード (絶縁4点)	R30TS4	63,000円~	6日	○	○
測温抵抗体入力カード (絶縁4点)	R30RS4	58,800円~	5日	○	○
交流電流入力カード (絶縁4点、クランプ式 交流電流センサCLSE用)	R30CT4E	52,500円~ クランプ式センサは別売です	5日	○	○
ポテンシオメータ入力カード (絶縁4点)	R30MS4	47,400円~	6日	○	○

直流信号出力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
直流電圧出力カード (絶縁4点)	R30YV4	71,400円~	6日	○	○
直流電流出力カード (絶縁4点)	R30YS4	71,400円~	5日	○	○

接点入力・出力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
Di16点、外部入力電源	R30XN16A	23,200円~	6日	○	○
Do16点 (接点マイナス共通トランジスタ (NPN))	R30YN16A	27,400円~	6日	○	○
Do16点 (接点プラス共通トランジスタ (PNP))	R30YN16C	27,400円~	6日	○	○

パルス入力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
積算パルス入力カード (Pi2点、32ビット対応)	R30PA2	31,500円~	6日	○	○

■ソフトウェアについて
DL30-N用 (形式 : DL30CFG)、DL30-G用 (形式 : DL30GCFG)、R30用 (形式 : RCFG) のコンフィギュレータソフトウェア、Web ロガー 2 用ユーザー定義画面作成ソフトウェア (形式 : DL30 Web Designer) は、当社Webサイトよりダウンロードできます。機器とPCを接続するためには、市販のUSB2.0対応ケーブル (接続コネクタ : mini-Bタイプ、5.0m以下) をご使用ください。
・データを保存するには、SDカードが必要です。指定のSDカードをご使用ください。当社からもご購入いただけます。お求めの際は、お問合せください。
・仕様により加算価格があります。詳しくは仕様書をご覧ください。

ユニバーサル入力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
ユニバーサル入力カード (絶縁2点)	R30US2	47,400円~	6日	○	○
ユニバーサル入力カード (絶縁4点)	R30US4	68,400円~	6日	○	○

通信入出力カード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
通信入出力カード (CC-Link IE Field ネットワーク用)	R30GCIE1	68,400円~	6日	○	○
通信入出力カード (EtherCAT用)	R30GECT1	68,400円~	お問合せ ください	○	○

ベース、ダミーカード

品 名	形 式	基本価格	基本納期	CE	
ベース (0スロット用)	R30BS00	8,000円~	5日	○	○
ベース (2スロット用)	R30BS02	12,600円~	5日	○	○
ベース (4スロット用)	R30BS04	17,400円~	5日	○	○
ベース (6スロット用)	R30BS06	22,200円~	5日	○	○
ベース (8スロット用)	R30BS08	26,800円~	5日	○	○
ベース (12スロット用)	R30BS12	36,400円~	5日	○	○
ベース (16スロット用)	R30BS16	45,800円~	5日	○	○
ダミーカード	R30DM	6,400円~	5日	○	○

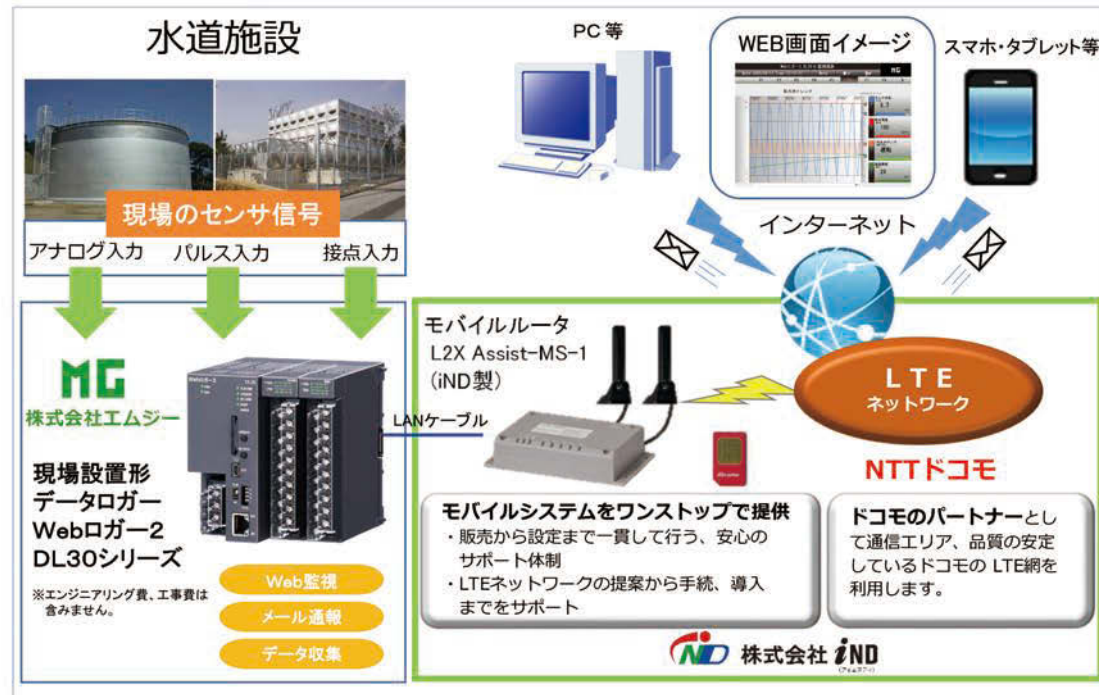
iND様とのコラボレーションパンフレットのコピーです。

水道施設モバイル監視システム

システム概要

水道施設における流量信号、ポンプの運転・故障信号や水質の遠隔監視をモバイルルータとドコモネットワークで **かんたん・あんぜん** にシステム構築できます。

システム構成



提案・導入支援

株式会社iND

経験に基づく適切な提案

長年に渡るネットワーク関連製品の豊富な技術と経験
多数の導入実績 (■ 上下水道設備遠隔監視システム、■ 河川水位監視システム、■ 電力監視システム ほか)

導入/保守サポート

強力な3社 [エムジー、iND、NTTドコモ] で連携しバックアップ
●ドコモ直契約利用
●導入後のドコモ直接サポート可能



機器紹介

モバイルルータ
L2X Assist-MS-1



製造元 **株式会社iND**

かんたん

LANポートに取り付けるだけで利用可能。
固定回線敷設などの面倒な工事はなし。

あんしん

屋内設備の監視だけではなく太陽光や風力設備監視など、屋外の厳しい環境下でも利用実績が多数あります。

サポート

設定の簡易ガイドや通信異常の際のご対応等をサポート致します。

初期費用

商 品	料金 (税込)	備 考
L2X Assist-MS-1 (iND)	iNDにお問合せください	アンテナ (ケーブル長 5m) 2本、ACアダプタ 含む
NTTドコモ 契約事務手数料	3,850円	
L2X Assist-MS-1 本体設定費用	5,500円	・基本設定 ・LTE通信設定 ・静的NAT ・ダイナミックDNS ・メール

・本体設定費用につきまして、お客様側で設定を行う場合は不要となります。

月額費用

・メール通報など小容量通信用途におすすめ

サービス名称	料金/月額 (税込)	備 考
ImoTミニ	385円 ※700MBまで 385円、1.5GBまで 1,045円	・通信速度は 送受信最大 5Mbps ・1.5GB以降は送受信最大 513kbps
プロバイダ利用料 mopera U シンプルプラン	220円	・メールなし ・メールありの場合は、Uスタンダードプラン 550円 となります。
ダイナミックDNSサービス (iND)	330円	サービス提供者 (iND) に年払い (先払い)

・Web監視など大容量通信用途におすすめ

サービス名称	料金/月額 (税込)	備 考
ImoT™	990円 ※3GBまで 990円、15GBまで 2,750円	・送受信ともにLTE高速通信 ・15GB以降は通信速度が送受信最大512kbps となります
プロバイダ利用料 mopera U シンプルプラン	220円	・メールなし ・メールありの場合は、Uスタンダードプラン 550円 となります。
ダイナミックDNSサービス (iND)	330円	サービス提供者 (iND) に年払い (先払い)

・「mopera U」は、株式会社NTTドコモが提供するインターネットサービスプロバイダーサービスです。
・「ダイナミックDNS」は、固定IPアドレスに代わる同様の利用方法で安価で提供するサービスとなります。インターネット接続環境で固定のドメイン名で認識させることができ、センターからの問合せや遠隔制御が可能になるサービスです。詳細については株式会社iNDにお問合せください。
・「ImoTミニ」「ImoT」の詳細については、ドコモビジネス/NTTコミュニケーションズのHPをご参照ください。
・「ImoT」は株式会社NTTドコモの商標です。

エムジー製品に関するご質問につきましては、下記までご連絡ください。

ホットライン
0120-18-6321
TEL 06-7525-8800

※記載されている内容は2025年3月現在の情報です。サービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認下さい。
※「L2X Assist-MS-1」は、株式会社iNDの登録商標です。
※「ImoT」、「mopera U」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

L2X Assist-MS-1及びLTE回線に関するご質問につきましては、下記までご連絡ください。

株式会社iND
TEL : 03-3664-5552
URL : <https://www.i-netd.co.jp/>
営業部 「エムジーの事案」担当
受付時間 10:00~17:30 (土日祝日、会社休業日、年末年始を除く)